

資料

1 サンプルの構成と特質について

本調査の個々の質問を分析するにあたって、まずサンプルの構成と特質について分析した。すなわち、F1からF4にいたる四つの質問は訓練校に入る前の最終学歴について、自宅通勤について、仕事の立場について、そして最後に企業規模について尋ねたものである。

◇ 最終学歴について（F1）

まずF1では、中卒・高卒に分類し、さらに高卒者については公立・私立の普通課程、職業課程にわけて選択枝を設けたところ、被対象者のかなりの人数が、総合高等職業訓練校を公立職業課程の高等学校と解釈して記入しており、その結果、F1の分析は断念せざるをえなかった。しかしながら、学歴別分析は本調査の重要な照合事項であるので、修了生の出身訓練校の原簿をもとに資料の集収を行なったところ、中卒者734名（77.9%）、高卒者208名（22.1%）のサンプルを確認した。なお、大卒者1名は高卒者群に入れて分析した。

◇ 居住形態について（F2）

F2は、居住形態について質問したもので、分析の結果、自宅から通勤する者は全体の68.7%であった。さらにこれを学歴別に分析したところ、中卒者では67.4%が、高卒者では73.1%が自宅から通勤していることがわかった。

◇ 仕事の立場について（F3）

F3では、彼らの仕事の立場について分析したところ、48.2%の者が“技能労働者”として働いているが、“技術系労働者”であるという者も33.6%おり、ほかに“営業系労働者”である者も6.4%いることがわかる。なお“自営者（家事従業者も含む）”も全体の5%いることがわかった。

これを学歴別にみると、“技能労働者”は中卒者の50.9%に対して高卒者では39.5%であるが、“技術系労働者”は逆に中卒者では32.1%であるに対して高卒者では38.9%と高く表明されている。

年代別では、“技能系労働者”であるという者、および“技術系労働者”であるという者はいづれも、若い年代より古い年代にいくにつれてそのパーセン

トは減少する傾向にある。とくに“技能系労働者”であるという者は45年修了生を境にして減少していることが目につく。一方、“自営”および“営業系労働者”であるという者は、若い年代より古い年代にいくにつれて増加し、とくに“自営”者についてみれば、47年修了生の2.2%に対して38年修了生では10.4%と約5倍の増加を示しており、同様に“営業系労働者”では47年修了生の3.4%に対して38年修了生では13.6%と約4倍になっている。

また科別では、“技能系労働者”という者は機械科の60.4%、溶接科の54.2%、板金科の51.0%とつづくが、電気機器科では48.0%、そして自動車整備科の32.5%がもっとも低い。一方“技術系労働者”という者は、自動車整備科42.4%、電気機器科の38.6%が比較的高く表明されている。

◇ 企業規模について(F4)

表1は訓練校修了生が就職している会社の企業規模について分析したものである。

表1 企業規模別就職状況 (%)

規模別	全体	中卒	高卒	機械	自動車整備	電気機器	板金	溶接
300人未満	55.2	53.5	61.1	45.6	70.0	43.8	60.1	53.4
301~1,000人	14.1	14.6	12.5	17.9	10.3	17.5	11.7	12.1
1,001人以上	30.7	31.9	26.4	36.5	19.7	38.7	28.2	34.5

まず、企業規模を300人未満の企業、300人以上1,000人未満の企業それに1,000人以上の企業に分けて分析したところ、全体としては55.2%の者が300人未満の会社に勤め、1,000人以上の会社には30.7%の者が勤めている。

中・高卒別では、高卒者は300人未満の中小の企業に61.1%と、中卒者の53.5%よりもやや多く勤務しているが、300人以上の企業および1,000人以上の企業には中卒者のほうが多く勤務していることがわかる。

また、科別にみると、科によってかなり大きな差のあることがわかる。すなわち、自動車整備科では300人未満の企業に勤めている者が70%に達しているのに対して、電気機器科では43.8%、機械科では45.6%にすぎない。一方、1,000人以上の企業では、電気機器科の38.7%、ついで機械科の36.5%、溶接科では34.5%、そしてもっとも低く表明されたのが自動車整備科の19.7%である。

2 生活意識について

ここでは修了生の生活意識について、人生観あるいは価値観といった側面から質問をこころみた。

◇ 興味の対象について(Q1)

まず、Q1において“現在もっとも興味をもっていること”について尋ねてみた。この種の問いかけは、あるときには“生き甲斐”調査として、またあるときには“興味”調査としていくつかの資料が紹介されているが、ここでは興味の対象として引き出すことを目的とした。

この結果についてまず全体の傾向を紹介すると“趣味やスポーツ”あるいは“おしゃれ”を楽しむなど自己中心的な生活に表明した者が32.7%でもっとも高く、“恋愛・結婚”などの人間関係が10.8%でこれにつづき、“経済的関心”については10.7%の者が表明しており、われわれの立場で好意的回答として期待した“仕事”に関する項目は8.1%(SA方式)であった。しかし人間の興味の対象は一つとは限らない。そこで、もっとも興味をもっているもののほかに興味をもっている事項について回答を求めたところ(多重回答方式=MA方式)“仕事”に興味をもっている者が11%いることがわかった。

このことは単数回答方式(SA方式)で無回答であった23.7%のものが、MA方式ではその分だけ他の項目に分散していることを示しているが、それが必ずしも“仕事”に対して興味をもつというよりも、自分を中心とした生活や人間関係、あるいは経済的問題に集中しており、修了生は自己中心的な生活態度であることを現わしている。

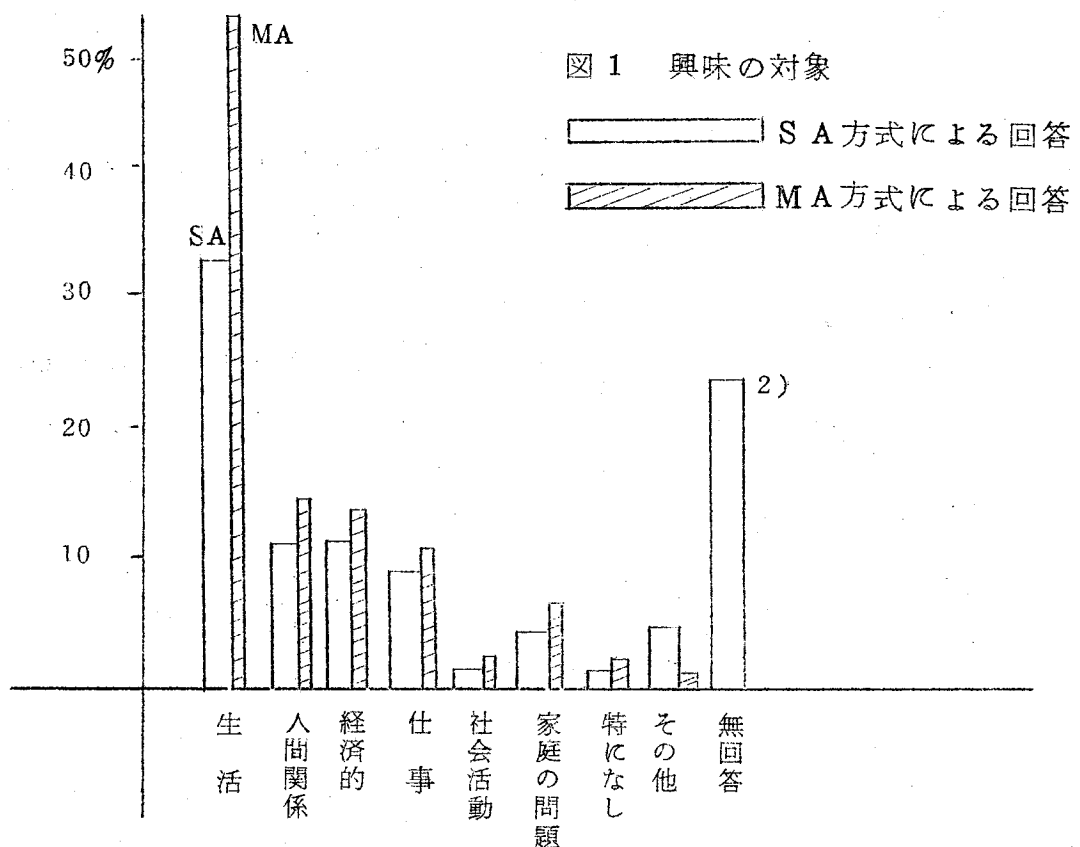


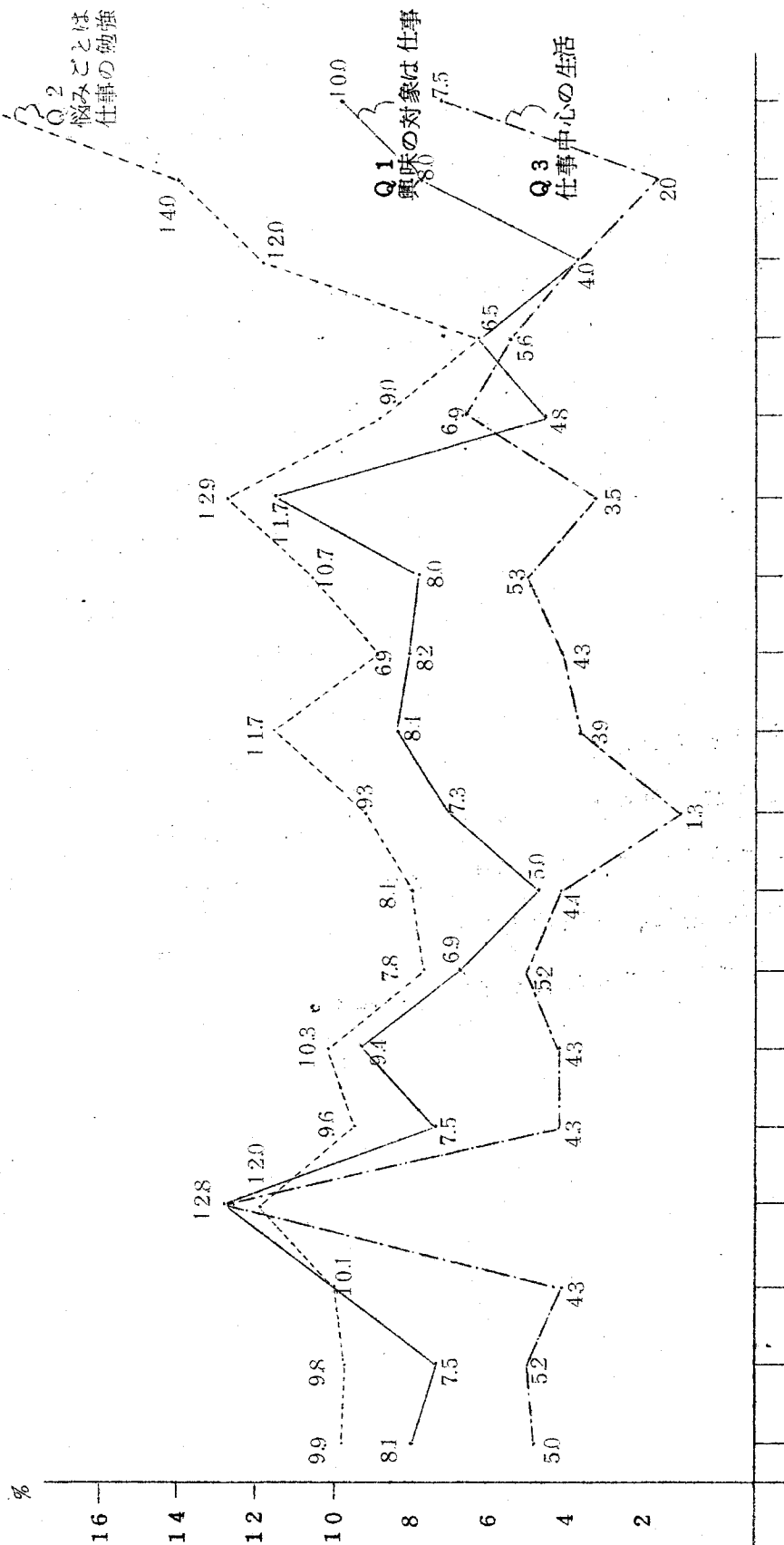
図2の実線はSA方式で表明された傾向を学歴別、修了年度別、科別及び興味検査のパーセンタイル別にみたもの(SAで“仕事”に回答したもの)であるが、これによれば、学歴別では中卒者よりも高卒者が、修了年度別では古い層の人たちが、科別では電気機械科の修了者が、そして興味検査(技能的×機械的)ではGグループの者が高いパーセントを示している。

◇ 悩みについて(Q2)

Q1の問いかけは、いわば“仕事”に対する積極的な問いかけかたであるがQ2でも同様の選択枝をもうけて、逆に消極的要因(態度としての良し悪しではない)としての“仕事”について聞いてみた。図2の点線で示したとおり、一般的にいえることは、仕事に“興味”を示した者よりも、仕事に“悩んでいる”者のパーセントが高いことがわかる。

この傾向は、ことに興味検査のパーセンタイル得点別にみた場合に顕著にみることが出来る。すなわち、Bグループでは4%の者が興味を示すと同時に、12%の者が悩みをもっており、Gグループでは10%が興味をもつと同時に

図 2



全体中卒 高卒 38年 40年 42年 44年 45年 46年 47年 機械自動車電気機器板金溶接 1~30 40~70 80~

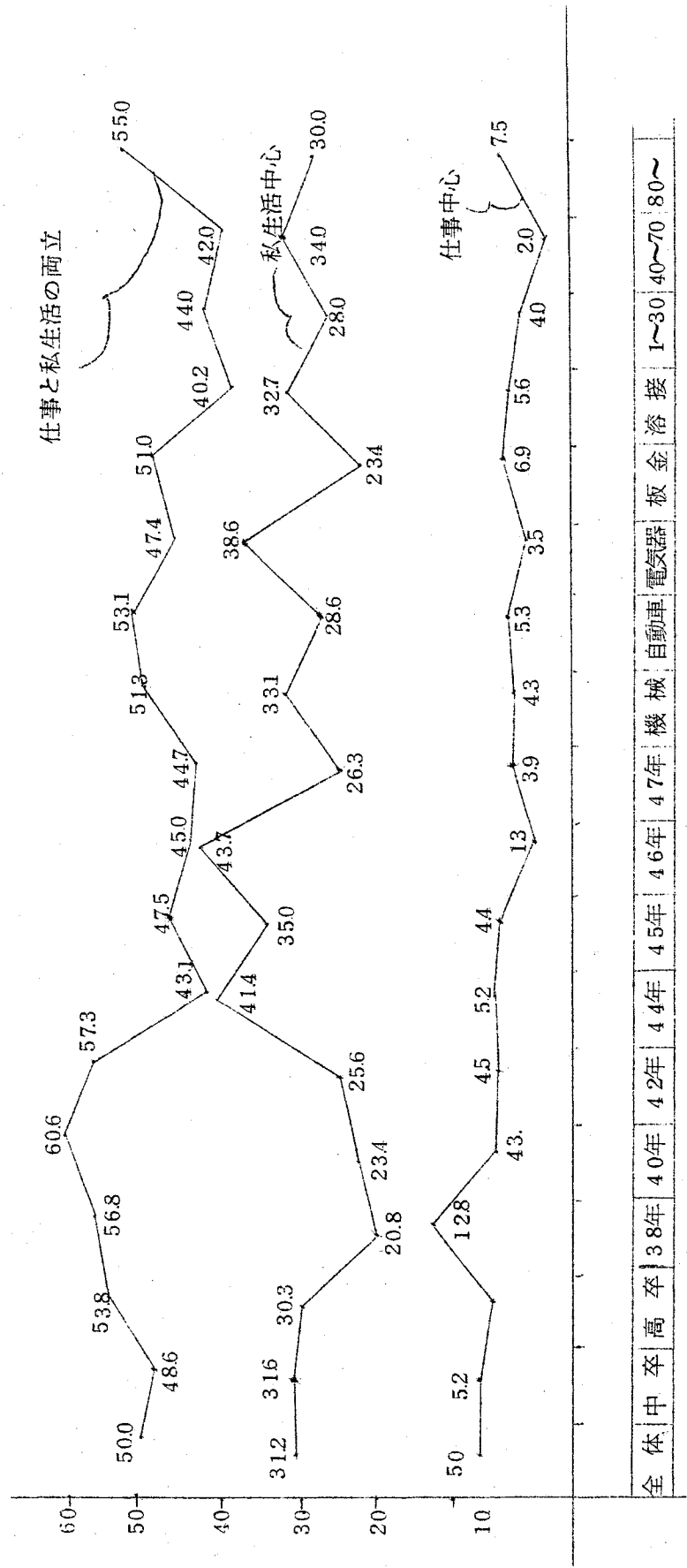
20%が悩みをもっている。ここにみられる両者の差、つまり、Bグループは仕事に興味をもつ者が少なく、逆に悩んでいる者が多いといういわばマイナスにパーセントが高くあらわれており、Gグループでは仕事に興味をもつ者も比較的多いが、それ以上に悩みをもつ者も多いのである。

◇ 仕事と生活について(Q3)

さて、Q3はQ1を確認する上でさらによい資料を与えてくれる。この間は修了生各人の生活態度を問うもので、「仕事」と「私生活」のウエイトを調べたものであるが、これによれば、Q1で「仕事」に示した回答率をさらに下まわる結果となっている(図3)。すなわち「私生活中心」の生活態度を示した者は全体で30%あまりいるが、「私生活と仕事を両立」させようとする者も約半数おり、一方、「仕事中心」と答えた者は5%しかいないのである。

以上Q1からQ3にわたる質問をとうして、修了生の意識の中で「仕事」の占める割合をみてきたのであるが、これらの個々の質問の回答は基本的にはよく照応し、お互いに確認しあっているといえよう。すなわち、社会的態度の大まかな傾向としていえることは、現在もっとも興味として関心をもつ事項は自己を中心とした私生活に関するもので、この私生活を中心とした事項についての悩みごとは比較的少ないが、逆に、仕事に関しては興味をもつ者が少ないわりには、悩みごとの対象としてあげている者が多いといえる。

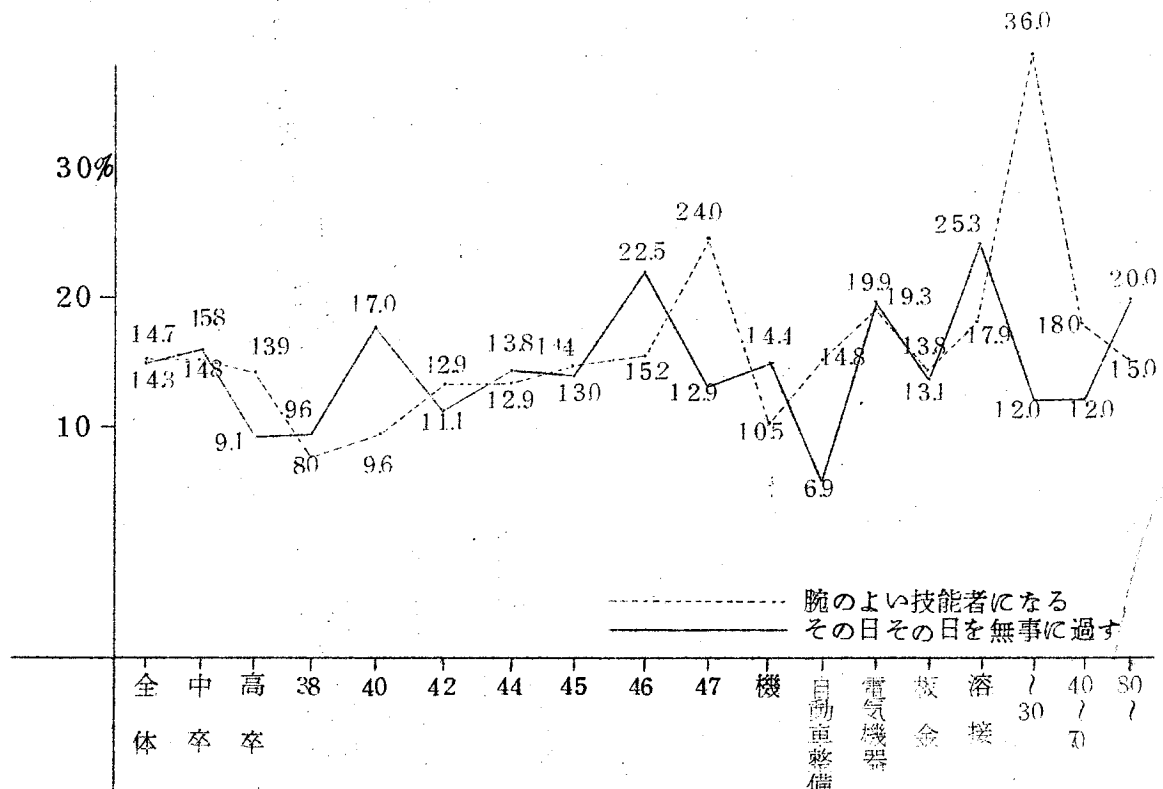
図3 仕事と生活について(Q3)



◆ 職業の価値について(Q5)

次に価値観について尋ねてみた。まず、修了生にとって価値のある生きかたについて8つの選択枝をもうけて調べてみたところ全体の傾向としては“尊敬されること”に回答するものがもっとも多く33.3%を占め、次いで“幸せな家庭”、“立派な技能者になる”、“平凡な生活”をあげる者がそれぞれ15%前後いる。

図4 職業の価値(Q5)



これを学歴別にみると、全体傾向と比べてとくに顕著な差のあらわれているものは、“平凡な生活”と答えたものが中卒者の15.8%に対して高卒者では9.1%と高卒者に少ないことである。

年度別では、かなり特徴的である。それは、“立派な技能者になること”と

答えた者が年代の古い人と若い人の差は3倍にも達していることである。すなわち、38年修了者は8%のものしか回答していないが、もっとも新しい47年修了者は24%の者が“立派な技能者になること”に回答していることである。この問に関しては、47年修了者の24%を最高に年度がさかのぼるにつれて減少しているがこれは、年代が古くなるにつれて現実的になっていくのにつれて、若い人は理想がそのまま回答されたとみることができる。しかし、それでは“立派な技能者になる”という積極的な生きかたに対して、その逆の立場“その日その日を無事に過すこと”に回答した者の傾向が、若い年代ほど低くて、古い年代ほど高いかといえれば必ずしもその現象はみうけられず、やはり若い年代に高く、古くなるにつれて低くなる傾向がみうけられるのである。

科別では、“立派な技能者になる”と回答した者は“電気機器科”が19.3%、“溶接科”の17.8%、以下“自動車整備科”、“板金科”とつづき、“機械科”は10.5%ともっとも低い。

ここでもっとも顕著な差をみることの出来るのは、興味検査の得点別でBグループの者は“立派な技能者になること”に36%ともっとも高いパーセントを示し、“その日その日を無事に過す”には12%の者が回答しているにすぎないが、逆にGグループの者は前者に15%しか回答していないのに対して後者には45%の者が回答していることが注目されることである。

◆ “腕のよい技能者”の転職意識について(Q5④×Q4)

ところで、“腕のよい技能者”になりたいと答えた人たちは、“転職”という問題についてどのような考えかたをもっているのであろうか。ここでは、Q5で“腕のよい技能者になりたい”と答えた138人(中卒109人、高卒29人)に対して、Q4の転職についての考えについてクロス集計させてみた。その結果、表2のごとく分析された。

表 2 職業の価値別（腕のよい技能者になること）転職意識

Q 4 \ Q 5 ④	全 体		中 卒		高 卒	
	クロス (Q5④)	Q 4 (単純)	クロス (Q5④)	Q 4 (単純)	クロス (Q5④)	Q 4 (単純)
転職してもよい	11.6	14.9	12.8	14.9	6.9	14.9
訓練が活かせるならば	47.8	28.9	45.9	29.5	55.2	26.4
条件がよければ	8.0	12.3	9.2	12.5	3.4	11.5
かわるべきでない	21.0	17.7	22.0	17.8	17.3	17.3
わからない	7.2	14.3	5.5	13.9	13.8	15.9
その他	3.6	11.1	3.7	10.6	3.4	13.0
無回答	0.8	0.8	0.9	0.8		1.0

すなわち、まず全体としては、“訓練が活かされるならば”と条件つきで肯定している者が47.8%あり、ついで、“かわるべきでない”という者の21%であるが、これをQ4の単純集計と比較してみると、“腕のよい技能者”になりたいという者は転職について、どちらかといえば否定的であり厳しい態度をとっているといえよう。すなわち、前述のとおり、“訓練が活かされるならば”というものについて、Q5の“腕のよい技能者”になることとのクロス集計では47.8%の者が表明しているが、Q4の単純集計では28.9%の者しか表明しておらず、その差は約20%開いている。また“かわるべきでない”者もクロス集計では21%の者が表明しているが、単純集計では17.7%とやや低く表明されている。

このクロス集計を学歴別にみると、“転職してもよい”者は高卒者の6.9%に対して中卒者では12.8%と転職に対して積極的・肯定的であり、また“条件がよければ”という者も高卒者の3.4%に対して中卒者では9.2%と中卒者に高く表明されている。一方、転職に対して否定的態度である“訓練が活かせるならば”という者についてみると、中卒者の45.9%に対して高卒者では、55.2%と、高卒者のほうが訓練内容を活かそうとする気持をもつ者の率が高

く表われているが、“かわるべきではない”という者は高卒者の17.3%に対して、中卒者では22%の者が表明している。そしてこれをQ4との単純集計と比較してみると、“腕のよい技能者になりたい”という者は一般に転職について否定的、あるいは“訓練を生かせるならば”という枠をはめて考える傾向が強く、とくに高卒者にこの傾向がつよく表われていることがわかる。

◆ 努力することについて(Q6)

職業に対する価値観は前問でわかったが、その価値観に対してどのような努力をするのであろうか。ここでは、“努力”という一面に問題を移してみることにする。“仕事に対して努力をしてもむくられないから無駄である”とする考えかたに積極的にも消極的にも同意した者は、全体の15.7%で、“とにかく一生懸命努力しよう”とする者は、80.1%にも達しており、一般的に言えば“努力”することに肯定的な人生観をもっているといえる。

これを年度別にみると、“無駄である”と回答した者は、年代の古い者と新しい者の両極の年代で低く示され、中間的な年代には高くあらわれている。一方、“一生懸命努力しよう”とする者もやはり両極の年代に高く表明されるという特徴をみることが出来るが、とくにはっきりあらわれていることは、職場の経験が長くなるにつれて、“努力する”という気持が強くあらわれていることであり、これは社会人としての意識が健康に成長しているものであるといえよう。なお、科別及び興味検査の得点別には、いづれも若干の差異は認められるが目立った特徴はない。

3 企業側の処遇に対する受けとめかたについて

◆ 会社での処遇について(Q9)

Q9は訓練を受けたことが給与に影響しているか否かについての質問であるが、ここで回答された“Yes”あるいは“No”のいづれにしても、回答者がたしかな資料にもとづいて確認したのではなく、周囲の人と比べての推測である。しかし、ここで必要なことは訓練を受けたことが給与に加味されているか否かという事実ではなく、修了生本人が“そう思っている”あるいは“思

っていない”という意識である。

まず全体の傾向をみると、“明らかによい”と回答した者は8.3%にすぎず、“よいのではないかと思う”と答えた者は45%で、約53%の者がいくばくかのメリットがあると思っている。しかし、“給与に加味されていない”と思っている人も約10%おり、これに“まったく差がない”を加えると31.7%の者が給与のことで不満をもっているとみられる。

これを学歴別にみると、“明らかによい”と答えた者は中卒者の7.5%に対して高卒者では11.1%とやや高卒者のほうに高くみられる。

年度別では、44年修了生に“明らかによい”と答えた者が4.3%と全体平均と比べて悪い結果を示している他には特徴的な事実はない。しかし、“差がない”“給与に加味されていない”と答えた者は、44年修了生の42.3%がもっとも高く、もっとも少ない者は47年修了生の21.8%と38年修了者の22.4%である。

科別では“明らかによい”、“よいのではないかと思う”と答えた者は溶接科、自動車整備科の56~57%であるが他の三科も50~53%とその幅はあまりない。しかし、“差がない”“給与に加味されていない”と答えた者は溶接科、電気機器科が約38%ともっとも高く、ついで機械科、板金科の31%でもっとも低く回答した科は自動車整備科の26%である。

また興味検査のBグループは“明らかによい”“よいのではないかと思う”に52%、そしてGグループでは65%の者が回答している。

◆ 職場配置について(Q10)

次に適正な職場配置は働く者の志気を高める点で欠くことの出来ない要素であるが、修了生は訓練の内容を生かすことの出来る職場についているであろうか。

全体傾向をみると“訓練内容と同じ”職場にいると答えた者は45.6%、“多少は関係ある”は36.1%であり、両者をあわせれば81.7%が訓練の内容を程度の差を別にすれば生かしていると考えられるが、約15%の者は“まったく違う職場にいる”と答えている。

学歴別では“訓練内容と同じ”と答えた者は中卒者の42.5%に対して高卒者では56.4%と高卒者に高く、“多少は関係ある”と答えた者は高卒者より中卒者に7%多くみられる。また、“全く違う職場にいる”者は高卒者の10.6%に対して中卒者では27.2%で、訓練を生かしていない者は中卒者に圧倒的に多いことがわかる。

年度別では“訓練内容と同じ”“多少は関係ある”と答えた者は若い年代ほど高いパーセントを示し、年代が古くなるにつれて訓練職種と関係のうすい仕事に就いている。このことは、後で述べる転職の問題とも関係してくるが、“全く違う職場にいる”と答えた者は逆の現象を呈し、若い年代は少なく、古い年代ほど高くなっている。

科別では、自動車整備科と溶接科の修了生に訓練内容を生かした仕事をしている者が多くいるが、反面、機械科、板金科、電気機器科には、全く違う仕事をしている者は15.8~18.7%で、厳密な条件をつけなければ修了生の約8割は訓練を生かしているということがいえよう。

4 能力について

◇ いまの仕事を遂行する能力について(Q14)

“あなたは現在の仕事をやりとげるのに、十分な知識や技能をもっていますか”という問は、ある意味で本調査の中心的な事項であり、以下Q15~Q34にはいるための前段でもある。

そこで、まずQ14の全体傾向をみると、“充分能力をもっている”と自信をもって回答する者は10.4%で、“一人前の力をもっている”と答えた者は20.4%である。この両者をあわせた30.8%の者が現在の仕事をなしとげる能力をもっている者とみなされる。

これを学歴別にみた場合、“わからないことや失敗がしばしばある”と答えた者が、高卒者にやや多くあらわれているほかは全体傾向とほぼ同じである。

しかし、年度別にみると仕事に対する自信は若い年代より古い年代にいくにつれて強くなる。つまり、47年修了者は15.1%しか積極的な自信を表明し

ていないが、44年修了生は27.6%、38年修了生では53.6%となり、38年度修了生では、47年修了生の約3.5倍の者が“自信”を表明している。逆に、“わからないことや失敗がしばしばある”については、47年修了生が39%と非常に高いが、46年修了生は25.8%、45年修了生は17.5%と年ごとに減少しており、仕事に対する自信が職務経験とともに着実に定着していく様子がうかがわれる。

科別では、自信があると答えた者は自動車整備科の33.0%がもっとも高くついで機械科の31.5%、電気機器、板金、溶接の三科は約29%で科別による特徴はあまりみられない。しかし、“わからないことや失敗がしばしばある”については板金科の26.2%が、ついで溶接科の22.4%、電気機器科の21.6%とつづき、機械科、自動車整備科はともに17.9%で低いことが目につく。

興味検査の得点別にみると、Bグループで“自信”をもっていると答えた者は12%で全体の平均よりも極端に低く、その分だけ“自信がない”ほうにパーセントが高くなっている。また、Gグループでも“自信”のある者は10%と低い、その分だけ“まだ人の助けを必要とする。”にパーセントが高くなっていることがわかる。

◆ 将来の仕事遂行能力について(Q39)

Q14は現在の仕事を遂行する能力について尋ねたものであるが、Q39では将来の仕事について、いまもっている能力がこれからの職場生活においても十分に活用出来るものであるか否かについて尋ねてみた。すなわち、Q39は“どんなに技術革新が進んでも自信がある”、“ある程度の自信はある”、“あまり自信はない”、“不安を感じる”の四つの選択枝について回答を求めたところ、全体をとらしてもっとも多く表明されたものは、“ある程度の自信はある”とする者の64.5%であり、はっきりと“自信がある”とする者は、12.7%で、逆に“不安を感じる”者は4.5%であり、約77%の者はこれからの職場生活に自信をもっていけると考えている。

これを学歴別にみると“どんなに技術革新が進んでも自信がある”という者は中卒者の12%に対して、高卒者では15.4%と高卒者のほうに若干積極的

回答が上まわり、また“あまり自信はない”という者は高卒者の8.7%であるのに対して、中卒者は12.9%と中卒者のほうに消極的回答率が高く表明されている。

これを年代別にみると、“どんな技術革新が進んでも自信がある”という者は、38年、40年修了生は20.8%、19.1%、また44年修了生は14.7%と全体平均より高く表明されているが、42年、45年、46年修了生はそれぞれ、12.0%、9.4%、12.6%と全体平均より低く、47年修了生では6.2%が表明しているにすぎない。大まかな傾向として若い年代から古い年代にいくにつれて積極的に回答する率は高くなっている。また“不安を感じる”という者は、逆に古い年代から若い年代にいくにつれて消極的回答率は高くなる。すなわち、47年修了生の7.3%がもっとも高く、40年修了生の1.1%がもっとも低く表明されている。この“不安を感じる”の選択枝に回答された割合は必ずしも高くはないがしかし“あまり自信がない”という者が47年修了生に15.6%、44年から46年修了生にそれぞれ14%、それに38年修了生にも10%いることは注目してよいことであろう。

次に科別では、“どんなに技術革新が進んでも自信がある”という者は自動車整備科に15.7%ともっとも高く表明され、ついで機械科の13.6%、溶接科の12.1%であるが、板金科では10.3%、電気機器科では9.4%である。“ある程度の自信はある”という者はいずれの科も60%から67%のあいだにあるが、“あまり自信はない”という者は板金科、電気機器科、機械科に比較的高く表明され、それぞれ15.9%、14%、12.9%であるが、自動車整備科では9.2%、板金科では8.4%ともっとも低く表明されている。

◆ 個々の能力について(Q15～Q34)

以上のように、“将来の仕事遂行する能力”の意識は“現在の仕事を遂行する意識”とはやや異った結果となって表明されているが、次のQ15からQ34にいたる20問で個々の能力について質問してみた。すなわち、Q15からQ34までの各問は、“訓練で修得した技能や知識を職場で役立てているか否か”について、いわば修了生の能力を問うものである。しかしながらQ15

からQ34までの20問は、いずれも“事実”の分析ではなく、あくまでも、“意識”の分析であることをおことわりしておきたい。すなわち、どのようなパーセンテージが示されようともそれは修了生自身が“そう思っている”ことの大小であって、客観的な評価とは性格を異にするものである。例えば、ある事項に高いパーセンテージが示されたと仮定するならば、その事項については高い“自信＝士気”が表明されたと理解し、また低いパーセンテージが示されたものについては、その部分について“自信＝士気”という点で問題を提起しているものであると理解すべきで、いわば、どの部分に“くもり”があり、どの部分にいま“雨がふっているか”という能力の天気図を作るものである。

次のグラフはQ1.5からQ34にいたる20問のうち、“積極的”に回答されたパーセントを学歴別、年次別、科別および興味検査の得点的にグラフにしたものである。

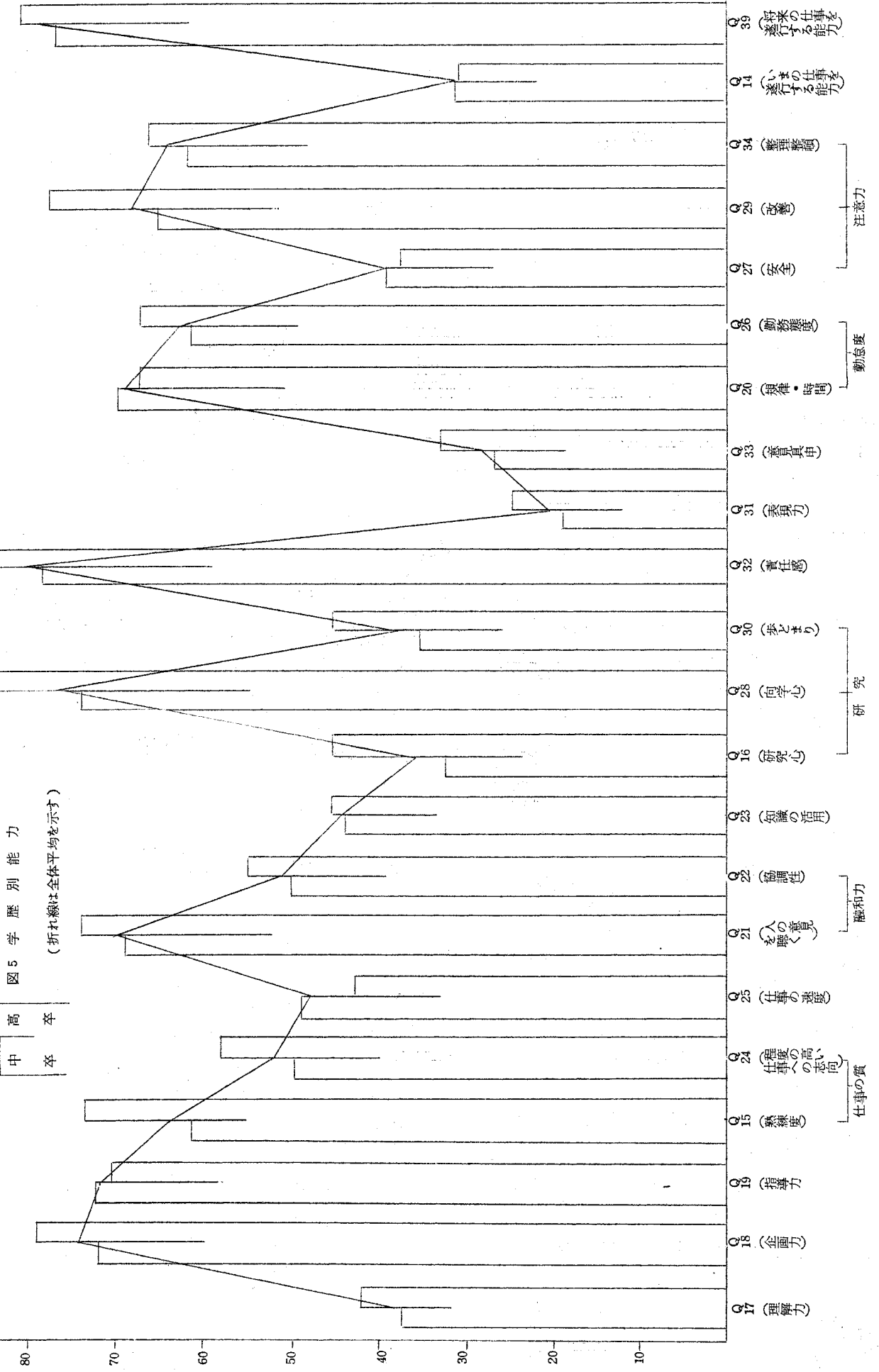
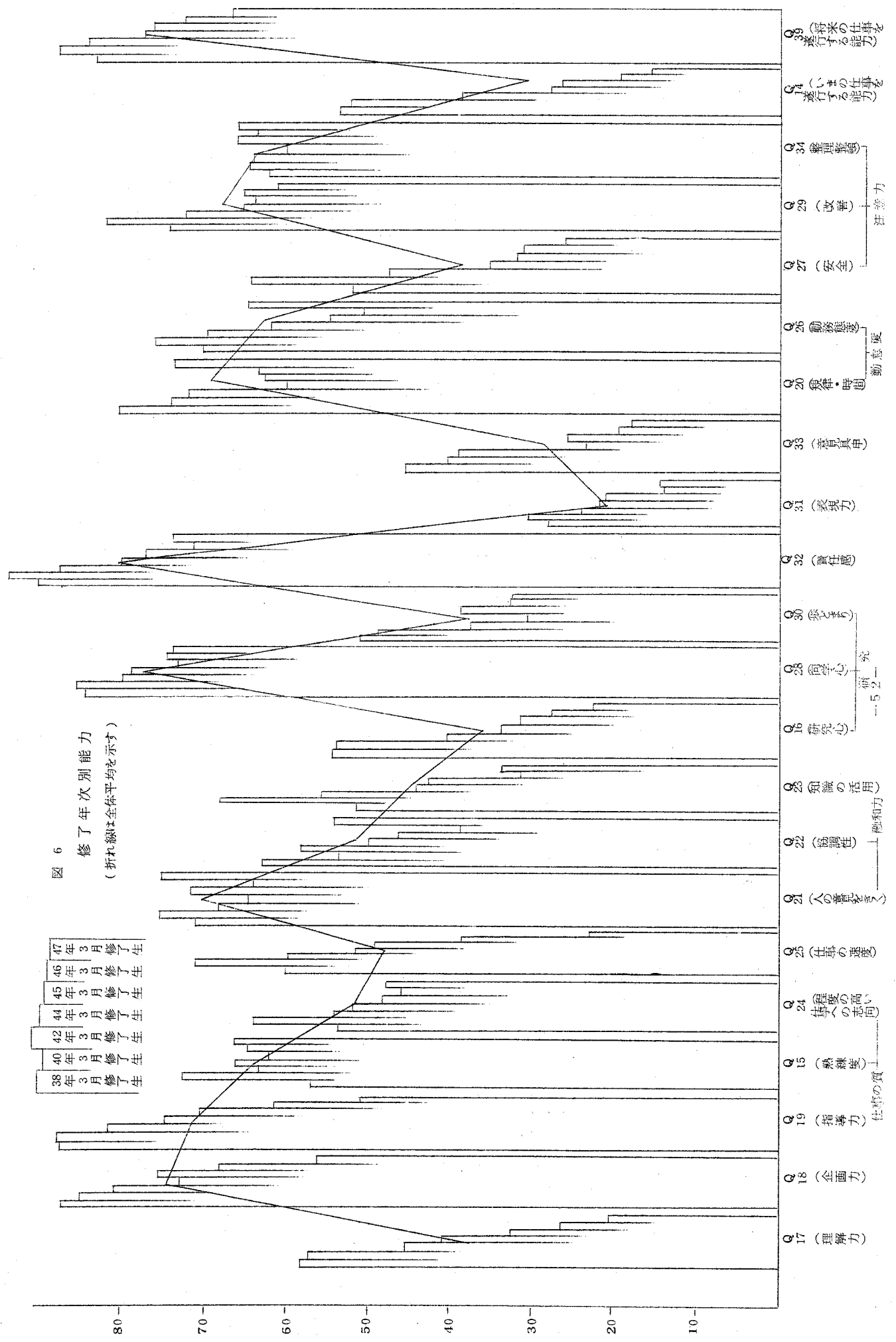


図 6

修了年次別能力
(折れ線は全体平均を示す)

- 47年3月修了生
- 46年3月修了生
- 45年3月修了生
- 44年3月修了生
- 42年3月修了生
- 40年3月修了生
- 38年3月修了生



- Q39 (従来の仕事を遂行する能力)
- Q34 (いまの仕事遂行する能力)
- Q29 (改善)
- Q27 (安全)
- Q26 (勤務態度)
- Q20 (規律・時間)
- Q38 (意見具申)
- Q31 (発見力)
- Q32 (責任感)
- Q30 (柔さ)
- Q28 (同僚心)
- Q16 (研究心)
- Q23 (知識の活用)
- Q22 (協調性)
- Q21 (人の意見をきく)
- Q25 (仕事の選定)
- Q24 (仕事への志気)
- Q15 (熟練度)
- Q19 (指導力)
- Q18 (企画力)
- Q17 (理解力)

80— 70— 60— 50— 40— 30— 20— 10—

図7 科別能力

(折れ線は全体平均を示す)

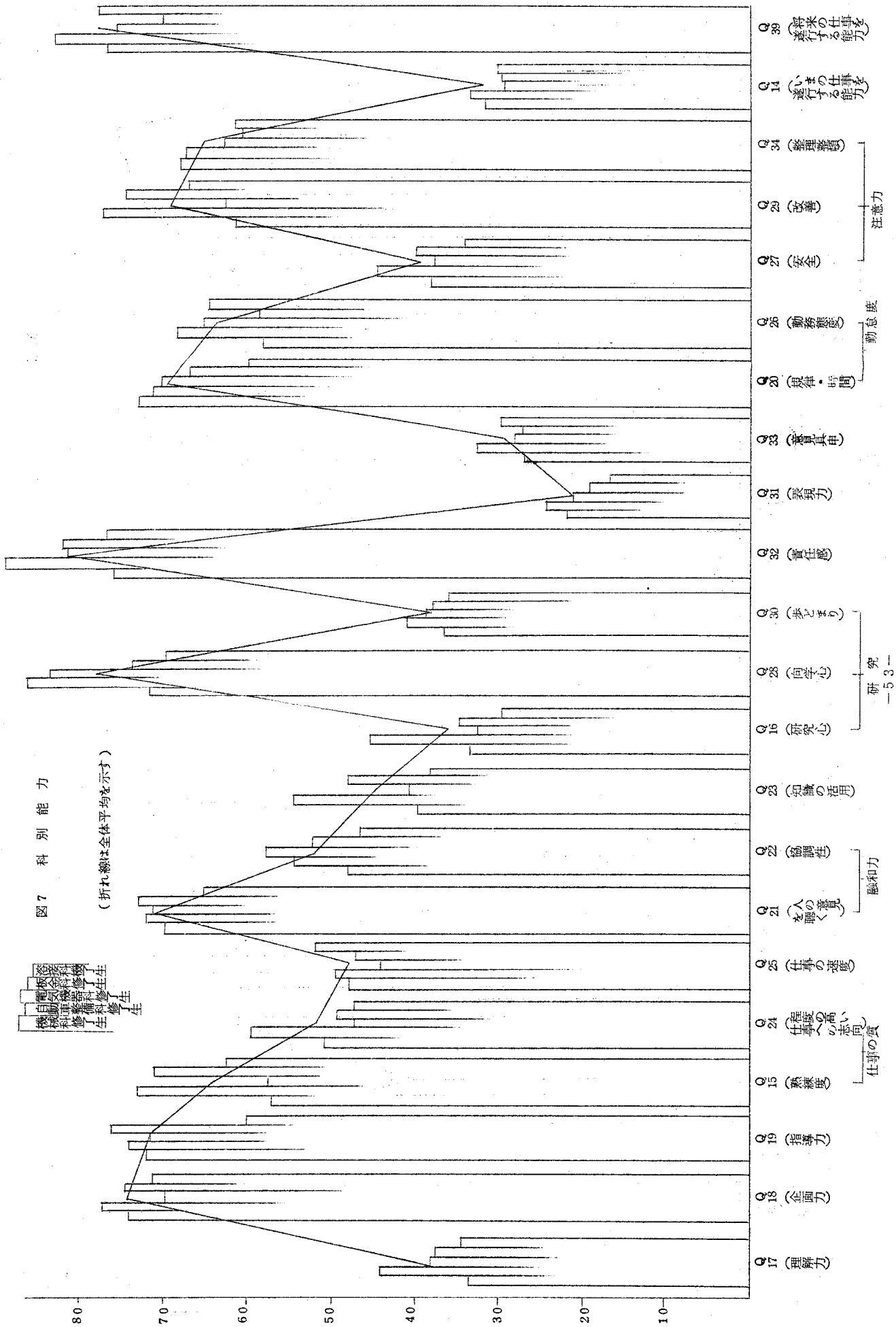
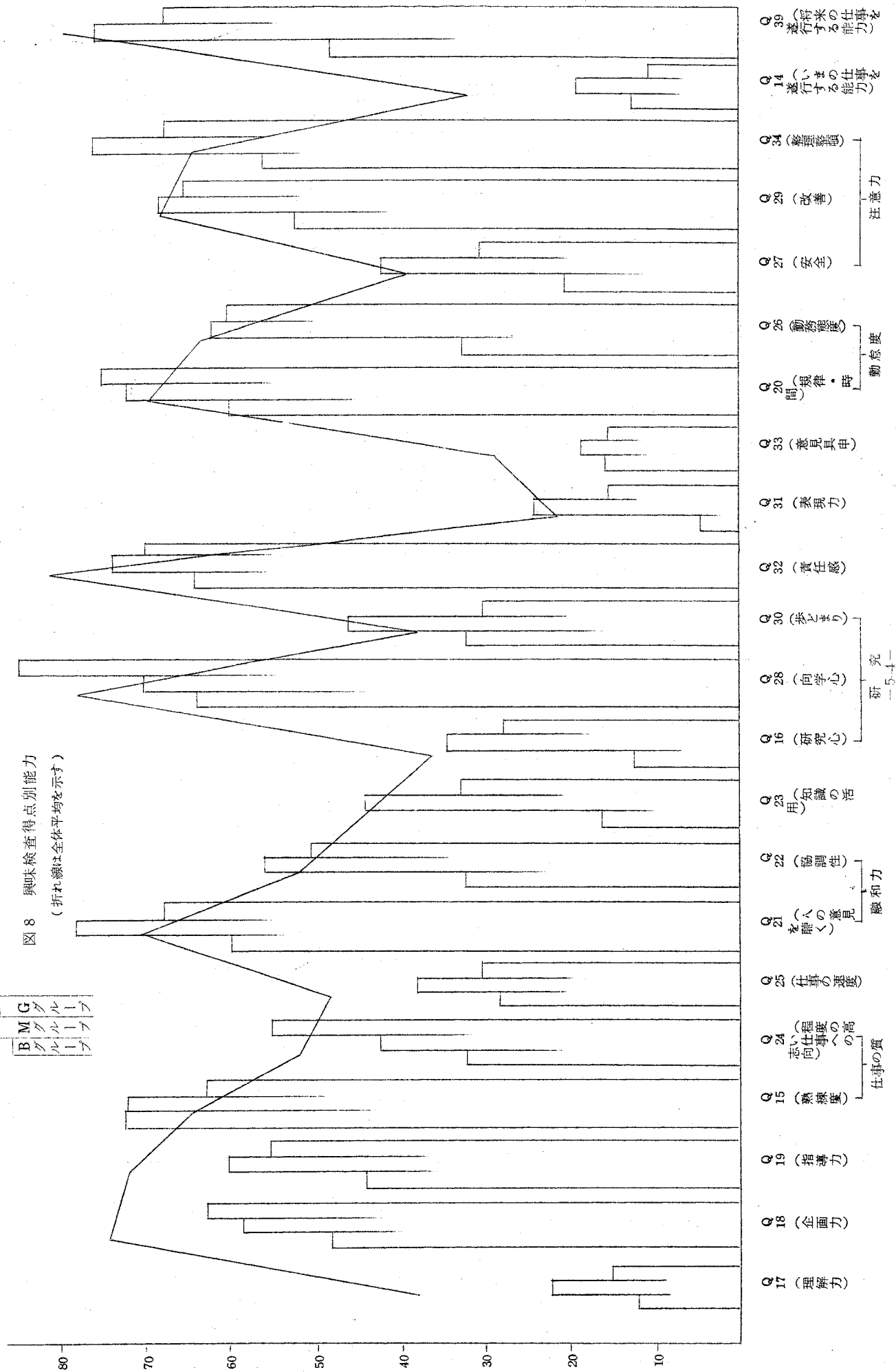


図8 興味検査得点別能力
(折れ線は全体平均を示す)

Bグループ
Mグループ
Gグループ



5 転職について

転職に関する意識について (Q4)

こゝでは、訓練校を修了した人たちが転職についてどのような意識をもち、また転職を自分自身の問題としてどのような行動に結びつけているかについて分析することが目的である。

まず一般論として転職することについてどのように考えているかについて調べたところ、もっとも高く表明されたのは「訓練が生かせるならば」と答えた者の28.9%であり、次いで高いのが「かわるべきでない」という者の17.7%で、この両者が転離職に関してその行動に枠をはめて考えているのに対して、「訓練と仕事の内容が違っても転職してよい」という者は14.9%、「少しでも条件がよければ」という者12.3%の両者は、転職という行為の中に訓練の内容を生かそうという配慮をしていないと見ることが出来る。

これを学歴別にみると「訓練内容を生かそうとする者」および「かわるべきでない」とする者は高卒者の43.7%よりも中卒者では47.3%で、やや中卒者に高くみられる。

また、年度別では「訓練内容と違っても転職してもよい」と答えた者は44年修了生と38年修了生に約20%もあり、47年修了生の9%と比べるとかなり高まっているが、一般的な傾向としては若い年代より古い年代にいくにしたがって転職を肯定する傾向にあるといえよう。また逆に、「訓練内容を生かす転職ならば」という条件付の肯定者は、年代が古くなるにつれて減少していることがわかるが、この二つの項目から分析すると、訓練内容を生かした仕事につこうとする気持ちは若い年代ほど強く、古い年代ほど弱いことがわかる。しかし、「かわるべきでない」と答えた者は44年の12.9%と45年修了生の15%を除けば若い年代と古い年代との間には大きな差はなく、同調者の率はほぼ一定(17%~21%)であるといえよう。

科別では、「訓練内容と違っても転職してよい」という者は溶接科の19.6%がもっとも高く、ついで自動車整備科の16.0%で、他の三科はいずれも13%台であり、「訓練内容を生かした転職ならば」という条件付きの肯定者は電

気機器科の34.5%がもっとも高く、ついで溶接科32.7%、板金31.0%で、機械科がもっとも少なく21.8%であった。また「かわるべきでない」とする者は板金科の13.2%がもっとも低く、他の四科はほぼ一定(18.1~19.6%)している。

興味検査の得点別では、「訓練内容と違って転職してよい」とする者はMグループの18%がもっとも高く、Bグループの16%、Gグループでは12.5%で、「訓練内容を生かした転職ならば」とする者はM・Gグループが36~38%でありあまり差はないがBグループでは28%となっている。また、「条件さえよければ」という者、および「かわるべきでない」という者はMグループにもっとも多いことが注目される。

以上は転職に関する行為をどのように考えているかについて一般的に尋ねたものであるが、それならば、果して実際の行為としてみた場合、修了生はどのような転職を経験しているのだろうか。

◆ 転職経験について (Q35-1)

Q4でみたように訓練校の修了生は一般に転職を認める傾向にありながら、自分自身の問題とした場合には、かなりの抵抗を感じているようである。

すなわち、転職経験者は全体の68.4%で約7割の者は訓練校を修了してはじめて就職した会社に継続して勤務しているが、残りの約3割の者が、転職を経験していることを示している。また転職を一度経験している者は17.8%、二度経験している者は8.1%であるが、四回以上の経験者も2.4%いることがわかる。

これを学歴別にみると、転職経験のない者は中卒者の67.7%、高卒者では71.1%と高卒者のほうに若干高くみられ、その分だけ転職経験者は中卒者に高くみられる。また転職の回数は、中卒者で三回以上転職の経験をした者が6.2%あるのに対して、高卒者は2.4%となっており、中卒者のほうが転職に対して肯定的、積極的である。

また、年度別に転職の傾向をみると、当然のことではあるが、転職の経験の

ない者は若い年代から古い年代にいくにしたがって減少し、47年修了生（調査時点で6ヶ月の職場経験がある）では96%であるのに対して、45年修了生では81.9%、44年68.1%、42年46.1%とつづき、38年修了生では40%しか転職の経験のない者はいない。この調査でみる限り、就職後3年ないし4年目に転職の経験者が目立って多くなること、および、40年修了者の中に転職の経験者が高く表明されたことが特に注目される。

しかしながら、全体の傾向としては、Q4で肯定されたほど意識と行動とが結びついていないようである。ごく一般的にいのかたとして、若年労働者の約20%は一年以内に、そして約35%は二年以内に転職を経験し、約半数の者は三年以内に転職しているといわれているが、こうしたいかたと比較して、訓練校修了生の定着率は高いといえよう。

これを科別にみると、もっとも定着の高い科は電気機器科の74.3%で、ついで機械科の71.2%、板金科、溶接科はともに約68%で、もっとも定着の低い科は自動車整備科の62.2%である。

◆ 転職に関する意識と実際の経験（Q4×Q35-1）

前述の転職に関する意識と実際の行動とが結びついていないことは、Q4とQ35をクロス集計することによってはっきりさせることが出来る。すなわち、まず全体傾向としては表3の如くQ4で

表3 転職に関する意識別転職経験

転職に関する意識 （転職経験の有無）	全 体 中 卒 高 卒					
	転 職 経 験		転 職 経 験		転 職 経 験	
	なし	あり	なし	あり	なし	あり
転職してよい (N=149)	60.0	40.0	59.6	40.4	61.3	38.7
訓練が生かせるならば (N=271)	70.8	29.2	70.8	29.2	71.0	29.0
条件がよければ (N=116)	59.5	40.5	53.3	46.7	83.3	16.7
かわるべきでない (N=167)	79.3	20.7	78.4	21.6	82.8	17.2
わからない (N=135)	74.6	25.4	75.2	24.8	72.7	27.3

「かわるべきでない」と答えた者のうち約80%は転職の経験をしていないし、また「訓練が生かせるならば」という者のうちでも約70%の者は転職をしていない。さらに「転職をしてもよい」とあるいは「条件がよければ」と答えた者のうちでも実際に転職をした者はいずれも約40%であることからわかる。

これを学歴別にみると、中卒者の場合は全体の傾向とほとんどかわらないが、高卒者の場合は、転職という行動に対して消極的、否定的である。すなわち、「かわるべきでない」と答えた者のうち82.8%は事実転職の経験をしていないし、また「訓練が生かせるならば」という者のうちでも71.0%の者は転職をしていない。さらに「条件がよければ」と答えた者のうちでも実際に転職の経験のある者はわずか16.7%にすぎないのである。

一番はじめに勤めた会社（Q35-2-1）

次に転職の時期をみてみよう。まづ転職経験者のうち訓練校を修了して一番はじめに就職した会社での勤続期間をみてみると、一年以内に28.5%の者が転職し、二年以内にまで期間を広げてみると51.0%の者が転職していることがわかる。

これを学歴別にみてみると、一年以内で転職した者は高卒者の25.4%に比べて中卒者では29.4%とやや高く表明されているが、一年以上二年以内の期間で転職した者は中卒者20.4%に対して高卒者の30.2%と逆に高卒者に高く表明されていることがわかる。

この比較的短期間に転職を試みた者を科別にみると、一年以内の転職経験者は電気機器科の36.4%、板金科34.0%、溶接科の33.3%が機械科25.6%自動車整備科23.0%の二科より高くなっていることがわかるが、一年以上二年以内の期間に転職した者は自動車整備科の27.0%がもっとも高く、次いで溶接科の24.2%であり、電気機器科では13.6%ともっとも低くなっている。

※P24の図で算出したパーセントは分母を全被調査者数としているのに対し、Q35-2-1からQ35-2-5にわたる集計票及び説明文中のパーセントは転職経験者数を分母としている。

◆ 二番目に勤めた会社 (Q 3 5 - 2 - 2)

また、転職経験者について、二番目に勤めた会社での勤続期間を45年修了生以前(職場生活二年以上)の者について年度別にみると、38年修了者は、17.3%が一年以内にその会社をやめており、二年以内が14.7%、三年以内が12.0%と短い期間に転職を試みていることがわかる。しかし、五年以上七年間も同じ会社に勤めながら転職を試みた者20.0%、および七年以上勤めながら転職を試みた者も10.7%いる。また40年修了者については、一年以内に次の就職のために転職を試みる者のパーセントはややふえて24.7%となり、二年以内が16.9%、三年以内が21.5%と全体の63%あまりの者が三年以内に転職している。このように短期のうちに転職を試みる者は年代が若くなるにつれて増加し、とくに一年以内の転職者のみを問題とするならば、42年の29.0%、44年の40.6%、45年の50.0%とつづき、46年修了生では72.7%となっているし、また勤続二年以内で転職している者は古い年代よりも若い年代にいくにつれて多くなっていることもわかる。

それでは、こうした転職者たちは訓練校で学んだ訓練を生かした職に就職しているのであろうか、また、転職することによって給与はどのように変わっているのかについてみてみよう。Q 3 5 - 2は訓練校を修了してから二番目の会社(転職一回目)に勤めた折の給与と職務内容の関係である。まづ転職経験者295名のうちで、転職することによって給与が高くなった者は62.1%いるが、低くなった者は17.6%である。ただし、こゝで20.3%の無答者がいるが、これは質問の選択枝に「かわらない」がなかったために無答者が多数であったことと推測されるが、こゝでは、この無答者をあえて分析の対象からはづしておくことにする。

そして、Q 3 5 - 2のうち「給与」と「仕事の内容」をクロスして集計したものが表-4であるが、これによれば、転職することによって給与が高くなり、かつ訓練を生かしていると答えた者は全体の24.9%で、訓練内容と多少関係があるとする者は17.3%おり、給与と職務内容の二つの要素のみを限定して考えるならば、この両者42.2%の者がプラスの方向に転職している。し

かし、給与は高くなったが訓練内容とは関係のない仕事になったとする者も16.4%いる。一方、転職することによって「給与は低くなったが、訓練を生かしている」と答えた者、および「訓練内容と多少関係がある」と答えた者はそれぞれ5%あまりであり、「給与も低くなり、かつ訓練内容とは関係のない仕事について」と答えた者が6.5%いることがわかる。

表 4 転職時の給与と仕事の関係 (1回目の転職)

転職時の		全 体	中 卒	高 卒
給与×仕事の内容		N=295	N=237	N=58
給与は 高くなった	訓練内容と 同じ職場	24.9	24.6	25.9
	多少関係あり	17.3	17.4	17.2
	関係なし	16.4	18.2	8.6
	わからない	0.3		1.7
低くなった	同じ職場	5.1	4.7	6.9
	多少関係あり	5.7	6.4	3.4
	関係なし	6.5	5.9	8.6
	わからない	0.3		1.7
無答	同じ職場	2.4	2.5	1.7
	多少関係あり	1.7	1.7	1.7
	関係なし	1.4	1.3	1.7
	わからない	15.3	13.9	20.9

◆ 三番目に勤めた会社 (Q 3 5 - 2 - 3)

次に二回目の転職、すなわち、訓練校を修了してから三番目の会社での勤続期間を、44年修了生以前(転職経験者について)の者についてみてみよう。まず、38年修了者では40名のうち一年以内、二年以内にそれぞれ17.5%の者が、そして三年以内には22.5%の者が転職を試み、はじめの三年間に57%あまりが転職していることになる。40年修了者については31名中一年以内に19.3%、二年以内では32.2%、そして三年以内では9.7%と、三年以内に全体の61.5%が転職し、さらに42年修了者については25名中、一年以内に40.0%、二年以内、三年以内にそれぞれ16%ずつ転職し、三年以内の間に72%と、年代が若くなるにしたがって短期間で転職する者は増加している。また44年修了者では三年以内に85.7%の者が転職している。

これを、給与と職務の内容とからみると、128名のうちで、転職することによって給与が高くなった者は57.9%で、一回目の転職の時と比べてわずかに低くなり、給与が低くなった者は17.9%いる。そして、「給与」と「仕事の内容」をクロスして集計したところ、表5の如く給与が高くなった者のうち、仕事の内容が「訓練とかわらない」、「多少は関係ある」と答えた者がそれぞれ19.7%、15.7%で、この両者で35.4%の者が多少なりとも訓練の内容を生かした仕事に転職しているといえるが、全く関係のない仕事にかわった者が20.5%いる。一方、転職することによって給与は低くなったが、しかし多少なりとも訓練の内容を生かしているという者は12.6%で、給与も低く、かつ訓練内容とは関係のない仕事についたと答えた者は5.5%いることがわかる。

表5 転職時の給与と仕事の関係（2回目の転職）

転職時の 給与×仕事の内容		全 体 N=128	中 卒 N=108	高 卒 N=20
給与は 高くなった	訓練内容と 同じ職場	19.7	21.1	10.0
	多少関係あり	15.7	12.8	30.0
	関係なし	20.5	22.9	5.0
	わからない			
低くなった	同じ職場	6.3	4.6	15.0
	多少関係あり	6.3	6.4	5.0
	関係なし	5.5	6.4	
	わからない			
無回答	同じ職場	4.7	3.7	10.0
	多少関係あり	0.8	0.9	10.0
	関係なし	1.6	1.8	
	わからない	16.5	16.6	15.0

◆ 四ばんめに勤めた会社（Q35-2-4）

次に三回目の転職、すなわち、訓練校を修了してから四番目の会社での勤続期間を42年修了生以前（転職経験者についての者について）についてみてみよう。まず、目立つことは、古い年代の者の中にも短かい期間の間に次の就職を試みようとする者の多いことである。たとえば38年修了生をみると、一年以内で転職した者が31.6%あり、三番目に就職した会社で一年以内にやめた者の17.5%と比較すると、実に14%も多くあらわれており、二年以内が21%、三年以内が15.8%となっている。また、40年修了生では一年以内で50%、二年以内では21.4%、三年以内では14.4%と、実に85.8%の者が三年以内に次の就職を試みている。この傾向は42年修了生についてもほぼ同じパーセントでみることができる。これを、給与と職務の内容とからみてみると、51名のうち転職することによって給与が高くなった者は41.2%で、二回目の転職のときの62.1%とくらべて、約20%も少なくなっており、転職によって給与が高くなったという者が減少していくことがわかる。また給与が低くなった

者は25.5%である。

この給与と仕事の内容をクロス集計したところ(表6)、給与が高くなった者のうち、仕事の内容が「訓練とかわらない」「多少は関係ある」と答えた者がそれぞれ15.7%、13.7%で、この両方で29.4%の者が多少とも訓練の内容を生かした仕事に転職しているといえるが、全く関係のない仕事にかわった者が11.8%いる。一方、転職することによって給与は低くなったが、多少なりとも訓練の内容を生かしているという者は19.6%で、給与も低く、かつ訓練内容とも関係のない仕事についたと答えた者は5.9%いることがわかる。

表6 転職時の給与と仕事の関係(3回目の転職)

転職時の 給与×仕事の内容		全体 N=51	中卒 N=46	高卒 N=5
給与は 高くなった	訓練内容と 同じ職場	15.7	15.3	20.0
	多少関係あり	13.7	13.0	20.0
	関係なし	11.8	10.9	20.0
低くなった	わからない			
	同じ職場	11.8	13.0	
	多少関係あり	7.8	8.7	
無回答	関係なし	5.9	6.5	
	わからない			
	同じ職場	3.9	4.3	
	多少関係あり	3.9	4.3	
	関係なし			
	わからない	7.8		

◆ 5ばんめに勤めた会社 (Q 3 5 - 2 - 5)

次に四回目の転職、すなわち、訓練校を修了してから五番目の会社での勤続期間については各年度ともその実数がいずれも7人以下であり、パーセントとしてあらわすことに無理があるために、こゝでは摘記しないがやはりこれまでの転職の型と同じように、短い期間に次の就職を試みる者の率は高くみられるを記すにとどめたい。

これを、給与と職務の内容とからみてみると、23名のうちで転職することによって給与が高くなった者は43.5%で、三回目の転職のときの41.2%と比べてあまりかわりがない。なお、給与が低くなったという者は17.4%で、三回目の転職のときの25.5%に比べて8%ほど低くなっている。

給与の増減と仕事の内容の関係は(表7)、まず給与が高くなった者のうち、仕事の内容が「訓練とかわらない」、「多少は関係ある」と答えた者はそれぞれ13.0%、17.4%で、この両者で30.4%の者が多少なりとも訓練の内容を生かした仕事に転職したといえるが、全く関係のない仕事にかわった者も17.4%いる。一方、転職することによって給与は低くなったが、多少なりとも訓練の内容を生かしているという者は合わせて8.6%であるが、給与も低くなり、かつ訓練とも関係のない仕事についたと答えた者も8.8%いることがわかる。

表 7 転職時の給与と仕事の関係 (4 回目の転職)

転職時の 給与×仕事の内容		全 体 N=23	中 卒 N=21	高 卒 N=2
給与は 高くなつた	訓練内容と 同じ職場	13.0	14.3	
	多少関係あり	17.4	19.0	
	関係なし	17.4	19.0	
	わからない	4.3	4.8	
低くなつた	同じ職場	4.3		50.0
	多少関係あり	4.3	4.8	
	関係なし	8.8	9.5	
	わからない			
無回答	同じ職場			
	多少関係あり	4.3	4.8	
	関係なし	8.8	9.5	
	わからない	17.4	14.3	50.0

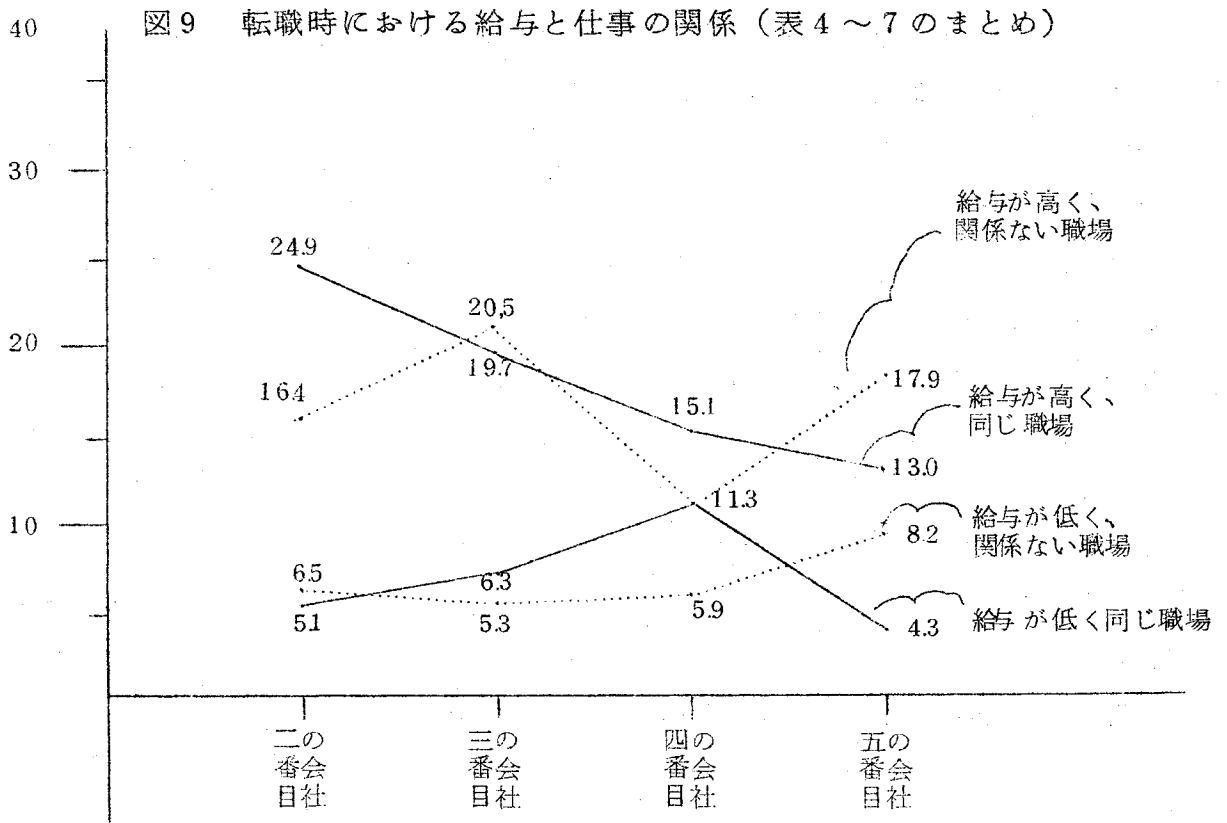


図9は以上述べた“給与”と“仕事”の関係を一覧にしたものである。

◆ 転職理由について (Q35-3)

Q35-3では転職経験者に対して、一番はじめに勤めた会社をやめた理由について尋ねてみた。まずこゝで目につくことは無回答の多いことであるが、これは、SA(単数回答方式)とMA(複数回答方式)との二つの方式をとったため、MAにのみ回答した者が多かったからである。

表8はQ35-3の選択枝をまとめたものであるが、これをSA方式で全体傾向をみると、もっとも転職理由として多くあげられているものは、給与問題を含む労働条件一般で18%の者がいるが、次いで多いのは、仕事の内容、仕事の難易、自立等の“仕事中心”を転職理由とした15.6%で、“自己を中心”としたものを転職理由とした者の11.2%よりも多くあらわれている。また、ほぼ同じ率で“社内の人間関係”をあげていること、および外面的な満足感を転職理由にしている者が8.5%いることも注目してよいことである。

これを学歴別にみるとかなり特徴的であることがわかる。すなわち、中卒者の転職理由でもっとも多いのは“社内の人間関係”で14.8%の者が表明しているのに対して、高卒者では“仕事中心”を転職理由としている者が27.5%いることである。とくに“人間関係”は高卒者では6.9%であるのに対して中卒者では14.8%と、二倍以上の者が表明している。これは“外面的満足感”や“自己を中心”とした理由が中卒者に多いこと、更にはQ45の自由記述部分の結果で“学歴志向”の者が多いことなどから考え合わせると中卒者の表明した“人間関係”の中味は“学歴”を無視しては考えることの出来ない性格のもののようなものである。また中卒者では“外面的な満足感”(9.3%)や“自己を中心”(12.2%)としたものを転職理由にあげているものが多いが、高卒者では“給与を含む労働条件”(22.5%)と“仕事中心”を理由とする者が多い(27.5%)ことがわかる。年代別にみると、いずれの項についてもまとまった傾向をみる事は出来ないばかりでなく、項目各についてもっとも高いパーセントとっとも低いパーセントの差が非常に大きいことがわかる。(ただし、47年修了者についてはサンプルが少ないので除く)たとえば“給与”を転職の理由にあげている者は46年、44年修了生が13.5%であるのに対して、その中にはさま

た45年修了生はわずか3.6%にすぎない。また、給与を除いた「労働条件」では38年修了者の13.3%、40年修了者の9.3%と古い年代に比較的高くあらわれているが、42年修了者では3.2%しかいない。また「会社の知名度」や「カツコよくない」などの外面的な理由で転職した者は古い年代よりも若い年代にいくにつれて高まるが、年代によって多少の増減がありもっとも高く表明されたのは45年修了生の14.3%で、もっとも低く表明された38年修了生の5.3%では9%の差がみられる。また「人間関係」を理由にしている者は40年、45年、46年修了生にそれぞれ18.5%、17.7%、22.9%と高く表明されているが、38年、42年、44年修了生には9.3%、8.1%、11.0%と低くあらわれている。また、転職理由を「仕事」に関係づけている者と「私事」に関係づけられている者とを比較すると古い年代の修了生には差はみられないが、42年から46年の修了生には特徴をみることが出来る。すなわち、46年修了生では「私事」を転職理由としている者が「仕事」をあげている者よりもやや多いが、42年から45年の修了生では逆に「私事」を理由としている者よりは「仕事」をあげている者のほうが目立って多いことがわかる。たとえば、45年修了者では「仕事」のほうが「私事」よりも約7倍のパーセントを示しているし、また44年では2倍のパーセントを示しているのである。

次に科別に特徴のあるものを摘記すれば、機械、自動車整備科では「仕事」を転職理由にしている者がもっとも多く、それぞれ19.0%、21.4%の者が表明しているが、溶接科では「仕事」を転職理由にしている者は5.9%ともっとも低い。また「私事」を理由に転職している者は溶接科の23.5%でもっとも高いことがわかる。さらに特徴的なもののみ摘記すれば、「人間関係」を理由とする板金科の21.8%、および「外面的満足」を理由とする電気機器科の18.6%などが目立っているが、一般的には年代別の分析と同じように、一定の傾向をみつけることはできない。

次にMAにより、選択枝から三つを選んで回答を求めたところ、全体で426件の回答があった、これは転職者一人が平均して1.4項目を選んだことになるが、その結果、もっとも多く回答されたものは「給与を含む労働条件」の39.9%で、次いで「仕事」の18.8%、「私事」の15.2%で、いずれもSA方式で無答であった者のパーセントが分散して加えられているが、「人間関係」のみはSA方式よりもMA方式のほうが低く表明されている。(表9)

表 8 転職理由 (S A 方式による回答)

	全体	中卒	高卒	38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電気機器	板金	溶接
	N=295	N=237	N=58	N=75	N=65	N=62	N=37	N=28	N=22	N=6	N=74	N=98	N=43	N=46	N=34
給与	10.2	8.9	15.6	8.0	10.8	12.9	13.5	3.6	13.6		9.5	14.3	7.0	8.7	5.9
労働条件 (給与を除く)	7.8	8.0	6.9	13.3	9.3	3.2	5.4	7.2	4.5		9.5	3.9	7.0	15.1	8.7
非物質的 (外面的満足感)	8.5	9.3	5.2	5.3	6.2	12.9	8.1	14.3	9.1		8.1	4.1	18.6	6.5	11.8
人間関係	13.2	14.8	6.9	9.3	18.5	8.1	11.0	17.7	22.9		10.8	11.2	14.0	21.8	11.8
仕事	15.6	12.6	27.5	14.7	12.3	12.9	21.5	25.0	13.6	16.7	19.0	21.4	9.3	10.8	5.9
私事 (自己中心)	11.2	12.2	6.8	13.3	12.2	9.6	10.8	3.6	18.1	16.7	6.7	13.3	11.6	4.4	23.5
その他	10.2	10.2	10.3	8.0	9.2	14.6	5.4	14.3	4.5	33.3	10.8	9.2	9.3	10.9	11.8
無答	23.3	24.0	20.8	28.0	21.5	25.8	24.3	14.3	13.6	33.3	25.7	23.5	23.0	21.8	20.6

表 9 転職理由 (M A 方式による回答)

	全体	中卒	高卒	38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電気機器	板金	溶接
	N=426	N=361	N=65	N=96	N=113	N=83	N=43	N=46	N=41	N=5	N=120	N=115	N=65	N=70	N=54
給与	18.5	20.3	9.2	20.8	25.7	12.0	14.0	17.4	9.8	40.0	18.4	20.0	19.9	20.0	13.0
労働条件 (給与を除く)	21.4	21.9	18.5	22.9	19.5	21.7	11.6	21.8	29.3	40.0	20.8	15.6	21.6	24.3	31.5
非物質的 要因 (外面の満足感)	9.6	9.1	12.3	11.5	8.0	10.8	14.0	4.3	9.8		12.5	13.0	3.1	5.7	9.3
人間関係	9.2	8.6	12.3	11.5	4.4	10.9	7.0	15.2	9.7		5.0	7.9	12.2	10.0	12.9
仕事	18.8	19.1	16.9	10.4	20.4	18.1	27.9	26.1	22.0		20.8	16.5	18.5	21.4	16.7
私事 (自己中心)	15.2	14.9	16.9	14.6	13.3	15.7	20.9	13.0	17.0	20.0	15.0	19.1	18.5	10.0	11.1
その他	7.3	6.1	13.9	8.3	8.7	10.8	4.6	2.2	2.4		7.5	7.9	6.2	8.6	5.5

次の表10はMAとSAに表明されたパーセントの選択枝ごとの比であるが、これによれば、SA方式で無答であった者が「給与」「および」「労働条件」に分散し、逆に「人間関係」に表明された比は低くなっていることがわかる。このことは、「人間関係」という問題が転職のもっとも大きな理由にはなっても、二番目、三番目の理由になり得ない性格のものであることを示しているといえよう。

表10

	全 体	中 卒	高 卒	MA%
				SA%
給 与	1.8	2.3	0.6	
労働条件	2.7	2.7	2.7	
非物質的 (外面的満足感)	1.1	1.0	2.4	
人間関係	0.7	0.6	1.8	
仕 事	1.2	1.5	0.6	
私 事	1.4	1.2	2.5	
(自己中心)				

このことを学歴別にみると、まず中卒者ではほぼ全体の傾向と同じで「外面的な満足感」、「人間関係」「および」「私事」にあらわれた比は低く、この三つの要因が転職理由のもっとも大きな要因であることを示しているが、高卒者では、「給与」と「仕事」が転職理由のもっとも大きな要因であることがわかる

就職理由について (Q35-4)

次にQ35-4では、転職経験者に対して一番はじめに勤めた会社を退職し、二番目に勤めた会社を選んだときの理由について尋ねてみた。この間でもQ35-3と同様に無回答者の多いことが目につくが、これもMAにのみ回答した者が多かったからである。(表11)

表 11 就職理由 (SA方式による回答)

	全体	中卒	高卒	38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電気機器	板金	溶接
	N=295	N=237	N=58	N=75	N=65	N=62	N=37	N=28	N=22	N=6	N=74	N=98	N=43	N=46	N=34
給与	7.8	7.2	10.3	12.0	12.3	4.8	2.7	3.6		16.7	9.5	9.2	4.7	4.3	8.8
労働条件 (給与を除く)	0.8	0.4	1.7	1.3			2.7				1.3				2.9
非物質的 (外面的満足感)	8.8	7.6	13.8	10.7	6.2	8.1	8.1	17.8	4.5		6.7	8.2	11.6	8.7	11.8
人間関係	2.4	2.6	1.7		1.5	3.2	5.4	3.6	4.5		2.9	1.0		6.5	2.9
仕事	23.0	20.7	32.9	21.3	29.2	12.9	27.0	35.7	13.6	33.3	25.7	25.5	18.6	21.8	17.6
私事 (自己中心)	23.0	24.5	17.2	25.4	23.2	22.6	21.6	10.7	40.9		18.9	18.4	30.2	28.2	29.4
その他	7.8	7.2	10.3	4.0	6.2	9.6	10.8	14.3	9.1		9.5	9.2	9.3	6.5	
無答	26.4	29.8	12.1	25.3	21.4	38.8	21.7	14.3	27.3	50.0	25.7	28.5	25.6	24.0	26.6

表 12 就職理由 (MA 方式による回答)

	全体	中卒	高卒	38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電気機器	板金	溶接
	N=352	N=292	N=60	N=79	N=87	N=81	N=40	N=32	N=31	N=3	N=90	N=105	N=51	N=59	N=46
給与	20.5	20.9	18.4	16.5	28.7	14.8	20.0	21.9	22.6		20.0	21.9	23.5	18.6	17.4
労働条件 (給与を除く)	8.1	8.9	5.0	2.6	5.7	14.8	7.5	12.5	9.7		12.2	5.8		8.5	13.0
非物質的 (外面満足感)	16.8	17.8	11.7	25.3	16.1	16.0	7.5	15.6	12.9		23.3	13.3	17.6	13.6	15.2
人間関係	4.0	4.1	3.3	3.8	2.3	2.4	7.5	6.3	6.4		3.4	2.8	3.9	6.8	4.4
仕事	11.5	12.0	10.0	8.9	11.5	14.8	17.5		16.1		7.8	13.3	17.6	11.9	8.7
私事 (自己中心)	31.0	28.4	43.3	32.8	28.8	24.7	35.0	40.6	29.1	1000	28.9	34.3	25.5	30.5	34.8
その他	8.0	7.9	8.3	10.1	6.9	12.3	5.0	3.1	3.2		4.4	8.6	11.8	10.1	6.5

まずSA方式で全体の傾向をみると、もっとも職場選択の理由として高く表明されたのは「仕事」と「私事」の各23%である。次いで「会社の知名度」や「カッコよい仕事だから」と答えた者の8.8%、「給与」がよいからと答えた者の7.8%である。

これを学歴別にみるとかなり特徴的であることがわかる。すなわち、中卒者の職場選択の理由でもっとも多いのは、通勤時間の問題、友人等の誘い、あるいは、ただなんとなく等の「自己中心」にしたもので、次いで「仕事」を考慮して職場を選択している者の20.7%で、「給与」および「外面的満足」に関するものを職場選択の基準にしている者は7%あまりにすぎない。

一方、高卒者では「仕事」中心に職場選択をしている者が32.9%ともっとも高く、次いで「自己を中心」とする理由の17.2%であり、中卒者では「私事」中心に選択する者が多いのに対して高卒者では「仕事中心的」である者が多いことがわかる。

年代別ではいずれの項目についてもまとまった傾向をみることは出来ないばかりでなく、一つの項目についても、もっとも高いパーセントと、もっとも低いパーセントの差が非常に大きいことがわかる。(ただし、47年修了者についてはサンプルが少ないので除く)たとえば、「給与」を理由にしている者は47年修了生の16.7%であるのに対して、44年修了生では2.7%であり、その間には14%の開きがある。また「外面的満足」を理由にしている者は45年修了生の17.8%であるのに対して46年修了生は4.5%である。そして、もっぱら職場選択の理由は「仕事」と「私事」の二つの要因に高く表明されている。すなわち「仕事」に回答した者は45年修了生の35.7%がもっとも高く、次いで40年の29.2%、44年の27.0%、38年の21.3%と続き、46年、42年修了生では約13%である。また「私事」とする者が、46年の40.9%を筆頭に、38年から44年の修了生はいずれも22~25%であるが、45年修了生ではわずか10.7%にすぎない。

次に科別に特徴のあるものを摘記すれば、機械、自動車整備科では「仕事」を職場選択の理由にしている者がもっとも多く、二つの科とも約26%である

が、電気機器、板金、溶接の三科ではそれぞれ18.6%、21.8%、17.6%と低く表明されている。また「私事」を中心にして職場選択をした者は、逆に電気機器科にもっとも高く30.2%、ついで溶接科29.4%、板金科の28.2%であり、機械、自動車整備の両科ではいずれも18.9%、18.4%と低く表明されている。

次に選択枝から三つを選んで回答を求めたところ、全体で352件の回答があった。(表12)

これは転職者一人が平均して1.2項目を選んだことになるが、その結果、もっとも多く回答されたものは、「私事」の31.0%で、ついで「給与」の20.5%、「外面的満足」の16.8%となり、「私事」を職場選択の理由にあげたものは11.5%で、いずれもSA方式で無答であった者のパーセントが分散して加えられているが、「仕事」のみはSA方式よりもMA方式のほうが低く表明されている。

これを学歴別にみると、まず中卒者も高卒も、もっとも高く表明されたものは「私事」の28.4%と43.3%であるが、高卒者のほうが15%高く表明されている。また中卒者では「給与」に20.9%、「外面的満足」に17.8%、「仕事」には12%表明されている。一方、高卒者では前述のとおり、もっとも高いのは「私事」の43.3%であるが、「給与」に18.4%、「外面的満足」に11.7%、「仕事」には10%と、いずれも中卒者よりも低く表明されている。

次の表13はMAとSAに表明されたパーセントの選択枝ごとの比であるが、ここで注意すべきは「労働条件」及び「人間関係」を職場選択の理由にあげている者の実数が少ない事であり、ことことを考慮すると中卒者の場合職場選択の理由のうち二番目、三番目の理由として考えられる要因は「給与」と「外面的満足」であり、高卒者では「私事」と「給与」である事がわかる。逆のいかたをすれば、中卒者では職場を求めるにあたって「仕事」を重視していることがわかるが、高卒者の場合には中卒者以上に「仕事」を職場選択の要因としているといえよう。

表 1 3

				MA%
	全 体	中 卒	高 卒	SA%
給 与	2.6	2.9	1.8	
労働条件	10.1	22.3	2.9	
非物質的 (外面的満足感)	1.9	2.3	0.8	
人間関係	1.7	1.6	1.9	
仕 事	0.5	0.6	0.3	
私 事 (自己中心)	1.3	1.2	2.5	

◆ 転職の難易について (Q35-5)

Q35-5は、一番はじめに勤めた会社をやめて、二番目の会社に勤めようとしたとき、すぐ就職することができたか否かについて尋ねたものである。ここでは、「簡単に就職できた」「就職口をみつけてから辞表を出した」、それに「苦労した」の三つの選択枝から回答を求めた。前二者は転職が比較的簡単であったと解される者であるが、ここでは、後者の「苦労した」者を中心にみる。

まず全体傾向としては「簡単に就職できた」と回答する者は50.8%で、「就職口をみつけてから辞表を出した」と回答する者の34.2%をあわせた85%は二番目の会社に就職する折に「苦労をしなかった」者であるが、「苦労した」と回答する者も9.2%ある。「苦労した」と回答した者は中卒者では10.5%いるのに対して、高卒者では3.4%と中卒者の約 $\frac{1}{3}$ である。

また、年度別では、転職の時期を考慮せずに分析すれば、「苦労した」と回答した者の率は、46年修了生の22.7%がもっとも高く次いで45年修了生の14.3%、38年、44年修了生の10.8%であるが、40年、42年修了生ではそれぞれ3.1%、4.8%と低くなっている。

また科別でも、板金、溶接の二科がそれぞれ約15%の者が「苦労した」と表明しているが、機械科では約10.8%、自動車整備、電気機器科では6.1%、2.3%と科によって大きな差があり職種ごとの移動傾向をつかむ事ができよう。

転職の難易の理由について (Q 3 5 - 6)

Q 3 5 - 6 は前の Q 3 5 - 5 で「比較的簡単に就職できた」と回答した者について、その理由を尋ねたもので、ここでは特にその理由が職業訓練と関係のあるものを中心にみていきたい。

まず全体で 1 5 0 名が「比較的簡単に就職できた」と回答しているが、そのうちの 1 8 % は「知識・技能があったから」と回答しており、ほぼ同数の者が「資格・免許をとっていたから」と答えている。

これを学歴別にみると、「資格・免許をとっていたから」とする者は中卒者も高卒者もいずれも 1 6 % 台であるが、「知識・技能があったから」とする者は中卒者の 1 9. 3 % に対して高卒者は 1 2. 9 % であり、中卒者のほうが、「知識・技能の習得」に対して高い意識を示している。

これを年代別にしてみると、3 8 年修了生では「知識・技能があったから」と回答した者は一人もおらず、2 3. 3 % の者は「資格・免許をとっていたから」と答えている。しかし、4 0 年から 4 6 年の修了生についてはいずれも、「資格・免許をとっていたから」と回答した者よりも「知識・技能があったから」と回答する者が多いが、そのうち、4 5 年修了生がもっとも多くて 3 8. 4 % の者が、ついで 4 4 年修了生が 2 8. 6 %、4 0 年、4 6 年修了生では約 2 0 % の者が「知識・技能があったから」と答えている。科別では、機械、板金、溶接の三科は「知識・技能があったから」と回答する者が「資格・免許をとったから」とする者を上まわっているが、自動車整備科では就職に際して「資格・免許」を所有することが他の科よりも効果的であると思っていることがわかる。

居住形態別転職経験について (F 2 × Q 3 5 - 1)

さらに Q 3 5 - 1 の転職の有無についての質問と F 2 をクロス集計されたところ、表 1 4 の結果を得た。

表 1 4 居住形態別転職経験

自宅通勤 転職の有無	全体	中卒	高卒
	N=647	N=494	N=153
転職経験あり	33.1%	33.4%	32.0%
転職経験なし	66.8	66.4	68.0
無回答	0.1	0.2	

社宅・寮 アパート 転職の有無	全体	中卒	高卒
	N=288	N=234	N=54
転職経験あり	27.1%	28.2%	22.2%
転職経験なし	72.9	71.8	77.8
無回答			

すなわち、転職経験は社宅、寮、アパートに居住する者の27.1%よりも自宅から通勤する者の33.1%のほうが高く表明しており、そのうちで、もっとも転職率の高い人は、自宅から通勤する中卒者の33.4%であった。ついで自宅から通勤する高卒者の32%がこれに次いでいるか、社宅、寮、アパート等から通勤する中卒者は28.2%であるのに対して、高卒者は22.2%ともっとも低いことがわかる。

6 学歴および技能検定について

◆ 進学の意識について (Q 36-1)

Q 36-1では、訓練校の修了生が進学という問題にどのように考えているかについて尋ねてみた。

まず、進学について考えたことの有無について分析したところ全体の48.3%の者が「ある」と答え、まったく同数の48.3%の者が「ない」と答えている。

これを学歴別にみると、中卒者では52.4%の者が「ある」と答え、44.7%の者が「ない」と答えているが、高卒者では33.7%の者が「ある」に、そして61.0%の者が「ない」と答えている。

「ある」と答えた者を年代別にみると、若い年代から古い年代にいくにつれて増加している。すなわち、47年修了生では42.4%が「ある」と答えているのに対して、45年の43.1%、42年の51.3%、38年の62.4%と「進学」志向率が増加することは注目される。

科別では、科によって「ある」に回答した者のパーセントは異なり、もっとも高く表明した科は電気機器科の53.8%、ついで機械科の51.8%、溶接科では48.6%であるが、板金、自動車整備科ではそれぞれ44.1%、43.5%と電気機器、機械科の両科にくらべて低く表明されている。

◆ 進学理由について (Q 36-2)

ところで、このような「進学」志向はどのような意識にもとづくものであろうか。まず全体傾向として、「社会的に認められないから」という者の28.1%、「資格が欲しい」という者の11.4%、「仕事をする上で高い内容を必要としたから」という者の25.7%、「自分をためす」という者の22.6%の四つの項目が全体の86%以上を占めている。

このうち「社会的に認められないから」および「資格がほしい」の二つの項目を「対社会的」とし、あとの二つを「仕事」と「私的」と仮りにいゝなおすと、中卒者では42.3%の者が「対社会的」に必要だからと答えているが高卒

者では24.3%であるにすぎない。また「仕事」をする上で必要という者は、中卒、高卒ともさして差はないが、「私的」な意識では中卒者の20%であるのに対して、高卒者の37.1%と大きな差をみることができる。

これを年度別にみると「対社会的」と回答した者はいづれの年代においても、もっとも多く表明されているが、中でも38年、45年修了生の43%台がもっとも高く、次いで46年修了生の41.8%であり、40年、42年、47年の修了生については35%から37%である。また「仕事」をする上で必要だからという者は、40年、45年修了生の16.6%、18.8%を除き、他の年代はいずれも27%から30%の者が表明している。そして、「仕事」をする上で必要だからと答えた者の少なかった40年、45年修了生は、その分「私的」な意識に高く表明されており、40年では25%、45年では29%である。

これを科別にみると、「対社会的」と答えた者は溶接科の57.7%がもっとも多く、ついで板金、自動車整備科の約40%、電気機器科の37%であり、機械はもっとも低くて34%で、溶接科と機械科のあいだには約24%の差がある。次に「仕事」をする上で必要だからと答えた者は、板金、電気機器科に多くて、32.8%、31.5%の者が表明しているが、自動車整備科では16.7%にすぎない。

◆ 進学の実態について (Q36-3)

ところで、こうした進学に対する意識をもった者のうち、実際に進学を試みた者はどのくらいいるのであろうか。まず全体としては13%の者が進学している。

これを学歴別にみると、中卒者では15.7%、高卒者では3.4%の者が高校あるいは大学に進学しており、中卒者の進学率は高卒者よりも4.6倍にも達している。

年代別では、若い年代から古い年代にいくにしたがって進学率が高くなることはうなづけるが、38年修了生では実に22.4%の者が進学を試み、40年

では17%、42年では15.4%、44年、45年、46年ではそれぞれ12.9%、10%、9.3%の進学者がいることがわかる。さらに、47年修了生のうち進学したと答えた8.4%の者は、訓練校を修了と同時に高校あるいは大学に籍をおいていたか、あるいは、訓練校在籍中すでに高校等に通学していた者と思われる。

科別では、電気機器科の18.7%がもっとも高く、ついで板金、機械科の14.5%であるが、溶接科では10.3%、自動車整備科では8%である。さらに、中卒者のうちで進学した者を科別に分析すると、電気機器科の20.8%がもっとも高く、ついで板金科の17.8%、機械科の15.9%であるが、自動車整備科、溶接科はそれぞれ10.9%、10.6%と進学した者の率は他の三科に比べて低く表明されている。

表 15 修了生の進学率

	進学率 (全体比) %	
全 体	13.0	
中 卒	15.7	
高 卒	3.4	
38年修了生	22.4	
40年 "	17.0	
42年 "	15.4	
44年 "	12.9	
45年 "	10.0	
46年 "	9.3	
47年 "	8.4	
機械科修了生	14.5	科別×中卒者 15.9
自動車整備科修了生	8.0	10.9
電気機器科 "	18.7	20.8
板金科修了生	14.5	17.8
溶接科 "	10.3	10.6

表 1 6 修了後の進学校 (記名分のみ)

岩手総高訓関係		茨城総高訓関係	
川越高校	1	川崎工業高校	1
磯子工業高校	1	水戸第一高校	1
一関第一高校	1	水戸商業高校	2
横須賀高校	1	東京電機大学電気学校	2
盛岡第一高校	2	佐原高校	1
花巻南高校	2	勿来高校	1
福島工業高校	1	磯子工業高校	1
川崎工業高校	1	勝田工業高校	2
杜陵高校	1	都立南高校	2
高津高校	1	岩瀬高校	1
東京電気大学電気学校	1	大森工業高校	1
都立工芸高校	1	都立港工業高校	1
野辺地高校	1	向島工業高校	1
科学技術学園工業高校	1	東京理科大学	1
横浜工業高校	1	〇〇工業短期大学	1
相模台工業高校	1	☆日本電子工学専門学校	1
盛岡工業高校	1		
深川高校	1		
大森工業高校	1		
目黒高校	1		
不明	2		
日本大学・理工学部	1		
☆東京デザイナー学院	1		
☆日本能率短期大学	1		

訓大附属総高訓関係

北野高校	1
川越高校	2
科学技術学園工業高校	6
狭山高校	3
南多摩高校	2
川越工業高校	8
立川高校	1
小松原高校	1
横浜南高校	1
中央工学校	1
藤沢高校	1
富士森高校	1
北多摩高校	1
東京電機大学電機学校	1
不明（高校関係）	2
日本大学（通信教育）	1
不明（大学関係）	2
☆日本電子専門学校	1
☆津田英会話	1
☆調理師学校	1
☆デザイン学校	1

神奈川県総高訓関係

希望ヶ丘高校	4
神奈川県工業高校	1
磯子工業高校	2
川崎工業高校	2
相模台工業高校	1
東京高等電気学校	1
不明（高校関係）	2
工学院大学	1
東海大学電気通信科	1
関東学院大学	1
☆産業能率短期大学	1

鳥取県総高訓関係

鳥取西高校	5
泉尾第二工業高校	1
大和田工業高校	1
倉吉東高校	1
西野田工業高校	2
神戸高校	1
日高高校	1
淀川工業高校	1
伊丹市立高校	1

なお、進学校については表16に記したごとくであるが、このうち高校進学者の約半数にあたる者は定時制高校であることを注記していた。また「進学」と回答した者の中には各種学校への入学者も含まれているが、本調査ではあえて本人の回答のまま進学者群として分析してある。

◆ 技能検定について (Q37-1)

Q37-1は、前Q36の進学の問題、すなわち「学歴」に対して「資格」という問題が、どのようなかゝわりをもっているかについてみようとするものである。しかし、ここで注意しなくてはならないことは、全体をとうして、特に若い年代層の中には「技能検定合格」を「受験資格」あるいは他の「免許・資格」と混同していると思われる者がいることである。しかし、ここではそれを確認することはできないので、本人の回答をそのまま分析すれば、まず全体として、一・二級の技能検定合格者は全体の24%である。

これを学歴別にみると、中卒者では20.3%が合格しているのに対して、高卒者では37%の者が合格している。

年代別では、40年修了生の26.5%を例外として、若い年代から古い年代にいくにつれて一、二級の合格率は増加している。すなわち38年修了生では32.8%、42年では32.4%、44年では30.2%が合格しており、45年、46年、47年修了生ではそれぞれ21.2%、20.6%、12.3%が合格している。しかし、一方で「試験を受ける気がしない」と回答する者も多くみられ、42年修了生の30.7%をはじめ、40年、44年、45年修了生の中にはそれぞれ約20%ぐらいの者が検定試験の受験に否定的回答をしている。

次に、科別でも「技能検定合格」と「受験資格」との混同していると思われることを考慮せずに分析すれば、溶接科の45.8%がもっとも高く、ついで自動車整備科の45.2%、板金科の16.6%、機械科の10.5%と続くが、電気機器科はもっとも低くて4.7%である。

◆ 技能検定をうけない理由について (Q 37-2)

次に、Q 37-1において「試験を受ける気がしない」と答えた者について、その理由を尋ねてみた。こゝで特に目立つことは、「無回答者」のパーセンテージの高いことであるが、これは回答をSA方式とMA方式の二つの方式をとったところ、MAにのみ回答した者が多くあったためであると推測されるが、こゝではSA方式で回答されたものについて分析をした。

まずSA方式でもっとも高く表明された意見は学歴別にも、年代別にも、科別にもごく一部の例外を除いて「昇給、昇進に関係ないから」というものであり、次いで「ただなんとなく受ける気がしない」というものである。まず、全体では「昇給、昇進に関係ないから」とする者は15.9%で、「ただなんとなく」と答えた者は10.7%であった。

学歴別では、「ただなんとなく」という者は中卒、高卒とも約10%でかわりないが、「昇給、昇進に関係ないから」という者は中卒者で16.9%、高卒者で10.3%あった。また、「昇給、昇進に関係ないから」という者を年代別にみると、38年修了生の21%、42年修了生の19.4%を除いて、他はいづれも13%から15%の間にある。

「給与、昇進に関係ないから」という項目を科別にみると、溶接科の25%をはじめ、機械、電気機器科の二科の約19%、自動車整備科、板金科では8%である。

◆ 訓練の効果について (Q 38-1)

Q 38-1は、訓練を受けたことが、現在の仕事に役立っているか否かについて尋ねたものである。選択枝は「非常に役立っている」「役立っている」、「役立っていない」に大別したところ、「非常に役立っている」と答えた者は全体では41.3%であるが「役立っていない」と答えた者も9.2%いる。

これを学歴別にみると、「非常に役立っている」者は中卒者では38.1%、高卒者では52.4%であり、逆に「役立っていない」者は中卒者で10.5%、高卒者では4.8%といづれの項目も高卒者のほうが好意的に回答している。

年代別では、年代の経過による特徴をみることはできないばかりでなく、各

項目とも年代による差の大きいことがわかる。すなわち「非常に役立っている」者については、38年、44年修了生では約36%の者しか回答していないが、40年修了生ではもっとも高く表明され、46.7%の者が回答しているように、その差は10%あまりもある。また、「役立っていない」者は38年、42年修了生の約14%が目立つが、その中には含まれた40年修了生では6.4%しかおらず年代の経過による特徴はみられない。なお、44年から47年の修了生については、いずれも7%から9%の者が「役立っていない」と答えている。

次に科別にみると、「非常に役立っている」についてもっとも高く表明された科は自動車整備科の55%で、ついで溶接科の43.9%、板金科の42.1%であるが、機械科では33.8%とやや低くなり、電気機器科はもっとも低くて29.2%である。また「役立っていない」者は、機械科の11.7%がもっとも高いが、電気機器、板金、溶接の三科はいずれも約10%であり、自動車整備科では5.3%ともっとも低く表明されている。

◆ 訓練の効果がなと思う理由について (Q38-2)

Q38-1で表明された9.2%の「役立っていない」者について、その理由を尋ねてみたところ、全体傾向として、「その他」を除けば「会社が自分に適した仕事をくれない」という者の25.3%について、「技能が会社で役立たない」という者の17.2%が目立っている。

これを学歴別にみると、「会社が自分に適した仕事をくれない」という者は中卒者では24.6%であるが高卒者では30%とやや高く表明しており、「技能が会社で役立たない」という者も中卒者の16.9%に対して高卒者では29.0%とやや高く表明している。

年代別に「会社が自分に適した仕事をくれない」についてみると、38年修了生では5.6%しか表明していないこと、および47年修了生で53.3%の者が表明していることは理解できることであるが、たとえば、その実数が少ないとはいえ、45年修了生の41.8%、42年、44年、46年修了生にも20~25%の者が「自分に適した仕事をくれない」と回答していることは問題を残

しているといえよう。また、「技能が会社で役立たないから」という者についても、年代による経過に特徴は、はっきりとはみられないが、しかし45年、46年修了生の16.6%、20%を除けば若い年代よりも古い年代にいくにつれて増加している。

次に科別にみると、「会社が自分に適した仕事をくれない」という者は電気機器科にもっとも高く44.4%いるが、もっとも低いのは溶接科の10%であり、他の三科は20から23%の者がこれに答えている。また、「技能が会社で役立たない」という者は自動車整備科がもっとも高く35.7%であるが、溶接科では20%、ついで機械、板金科ではそれぞれ、16.7%、13.3%で、電気機器科では22%ともっとも低く表明されている。

◆ 訓練の効果があると思う理由について (Q38-3)

またQ38-1で、「非常に役立っている」「および」少しは役立っている」と答えた者について、その理由を尋ねてみた。その結果、全体としては「技能」が身についたと答えた者が51.6%で、「知識」が身についたからと答えた者の39.1%を上まわっているが、これを学歴別にみると、中卒者では「技能」に55.4%、「知識」に35.6%と「技能」の習得が役立ったと答えている者のほうが約20%も高い。一方、高卒者では「知識」に59.8%であるのに対して「技能」は39%で、中卒者とは逆に「知識」の習得が役立ったと答えている。

年代別では、38年修了生のみは「知識」の習得が「技能」の習得を上まわっているが、40年から47年修了生ではいずれも「技能」の習得が「知識」の習得を上まわっており、その差は、44年、45年、46年修了生では約10%であるが、40年、42年、47年修了生では20%にもおよんでいる。

また、科別では、自動車整備科では「知識」と「技能」に表明したパーセントはほぼ同数であるが、電気機器科では「知識」の習得に54.3%、「技能の習得」に35.8%と、「知識」の習得のほうが上まわっており、機械、板金、溶接の三科はいずれも「技能」の習得と答えた者のほうが上まわっている。そ

さてその差のもっとも大きいのは、溶接科で「知識」に7.5%、「技能」に17.7%と実に57.2%の開きがあり、ついで板金科に36.2%の開きのあることがわかる。

7 技能者としての誇りについて

◆ 働く目的について (Q7)

Q7は「働く目的」について尋ねたものである。

まず全体の傾向から、もっとも高く表明されたものは、「自分自身の成長」を期待するという者の55%で、ついで「生活の充実」という者の14%、「社会に貢献」するためという者の13.1%で、自分の存在を世間に知らせることによって「社会的満足感を得る」と答えた者は8.7%であった。

これを学歴別にみると、「自分自身の成長」を期待すると答えた者は中卒者も高卒者も約55%でわからないが、中卒者の特徴としては、豊かな生活をするための賃金を得て「生活の充実」をはかることが働く目的であるという者が、高卒者の19.6%に比べて、1.5%とやや高く表明されていることである。また高卒者では、自分の存在を世間に知らせることによって「社会的満足感を得る」と答えた者が、中卒者の7.8%に比べて、12%と高く表明されていることに特徴をみることができる。

年度別では、「生活の充実」をはかるためと答えた者は若い年代の人に高く表明されており、古い年代にいくにつれて減少する傾向にあるが、その減少率には若干の波がある。また、「社会に貢献」することが働く目的であると答えた者は、その増加率に若干の波があるとはいうものの、若い年代から古い年代にいくにつれて増加していることは、「生活の充実」が若い年代から古い年代にいくにつれて減少している事実と相反していることがわかる。

興味検査の得点別では、Bグループの者に「生活の充実」と答えた者が32%と非常に高く表明されている反面、「自分自身の成長」を期待すると答えた者は28%のみであり、M・Gグループとは、はっきりと特徴をみることができる。すなわち、Bグループの者は生活充実型であるのに対して、M・Gグル

ープでは、「自分自身の成長」が働く目的であると答えている点に特徴がある。

◆ 将来の目標について (Q8)

Q8では将来の目標について尋ねたところ、「優秀な技能者としてすごしたい」と答えた者が31.8%いることがわかったが、特に希望はなく「なりゆきにまかせる」という者も11.1%いる。このほかに、「他の仕事もしてみたい」という者も37.9%いるが、いわゆる出世が目標であるという「社会的に成功する」ことについては5.6%しか表明していない。

これを学歴別にみると、「優秀な技能者としてすごしたい」と答えた者は、高卒者の26.9%よりも中卒者の33.2%と、中卒者のほうが技能者としてすごすことに強い意識をもっていることがわかる。

また、年度別にみると、「優秀な技能者としてすごしたい」と答えた者は、47年修了者の40.2%がもっとも高いが、年代が古くなるにつれて序々に減少し、38年修了生では27.2%と約13%も減少している。

科別にみると、「優秀な技能者としてすごしたい」という者は電気機器科の36.8%、機械科の36.2%に高く表明されているが、板金科は33.1%とやや低く、自動車整備科、溶接科は約26%である。また、特に希望はなく、「なりゆきにまかせる」という者は、溶接科の15.9%がもっとも高い。

そして興味検査の得点別に、「優秀な技能者としてすごしたい」という者をみると、Bグループの48%が、M・Gグループのそれぞれ32%と比べて高く表明されていることが目につく。逆に、「他の仕事をしてみたい」という者はBグループでは28%、Mグループでは32%、Gグループでは35%である。

◆ 仕事のやりがいについて (Q11)

仕事にやりがいを感じているか否かという問題は、単に仕事の内容のみではなく、雇用条件や労働条件、それに職場の人間関係、あるいは本人の気持の持

ち方によって大きく左右されるものであるし、また、その仕事をもつ社会的な意義にも左右されるであろう。Q11では、こうした要因をひっくるめた型で現在の仕事にやり甲斐を感じているかどうかを尋ねてみた。

まず、全体の傾向をみると、「非常に感じている」と答えた者は9.6%、「感じている」と答えた者は48.1%であり、両者を合わせると57.7%の者がやり甲斐を感じていると答えている。また、「いますぐやめたいくらい」と答えた者は5%にすぎない。

これを学歴別にみると、「非常に感じている」と「感じている」の両者に回答した者は、中卒者の55.5%に対して、高卒者では65.4%と高卒者のほうが仕事に対して意欲をもっていることがわかる。また、「感じていない」という者、「いますぐやめたい」という者は、中卒者には16.9%いるのに対して、高卒者では10.1%であり、調査時点における仕事に対する態度は、高卒者のほうが意欲的、積極的であることがわかった。

ところが、「非常に感じている」という者について年度別にみると、興味ある傾向をみることができ。それは、もっとも若い年代である47年修了生を除けば、就職後極端にやり甲斐を消失した者が職場経験を積み重ねるにしたがって、仕事にやり甲斐を強くもつようになることである。すなわち、47年修了生では8.9%の者が「非常に感じている」と答えているが、46年修了生では2.7%に落ち、以下45年から42年修了生ではいずれも7.5%から7.8%と横ばい傾向にあるが、40年修了生では17%、38年修了生では19.2%に増加しているのである。この傾向は28で、「優秀な技能者としてすごす」ことを将来の目標にした者が、若い年代から古い年代にいくにつれて減少している事実と相反している。しかし、これを科別にみると「非常に感じている」に回答した者のパーセントは2.8%から14.1%とその差が非常に大きいことがわかる。すなわち溶接科ではわずか2.8%であるが機械、板金科では約9%自動車整備科では14.1%に達している。興味検査で低い得点を示したグループは「非常に感じている」にまったく回答が得られなく逆に「今すぐやめたい」に12%も表明しており、全体平均と比べて、かなり非好意的な反応をみるこ

とができる。しかし一方、高い得点のグループでは前者に19%、後者にわずか2.5%となり、BグループとGグループとの間には、はっきりとした差異がある。

◆ 転職者の仕事のやりがいについて (Q11×Q35-1)

次にこのやりがいを感じているか否かについて転職経験者と転職経験のない者について調べてみたところ全体の傾向としては、転職経験のない者よりも転職経験をしている者のほうが、一般に「非常にやり甲斐を感じている」ことがわかった。(表17)

まず全体傾向をみると「非常にやり甲斐を感じている」者は、転職経験のない者の5.6%に対して、転職経験者では18.3%と約3倍も表明されており、しかも、転職を重ねるごとにそのパーセントが増加している。また「感じている」と回答した者は、転職経験のない者が51%と約10%ほど多く表明されている。しかし、この両者をあわせてみると、わずかではあるが、転職経験のある者のほうに積極的に回答されている。また、「苦ではないが、やり甲斐は感じていない」者は逆に転職経験のない者に多く、「いますぐやめたい」という者も、転職経験のない者に多く表明されていることがわかる。

これを学歴別にみると中卒者の場合では、傾向としては全体傾向とほぼ同じで「非常にやりがいを感じない」者は、転職経験のない者の5.8%に対して、転職経験者は17.7%と、約3倍の人が回答している。「感じている」という者では、転職経験のない者に若干高く表明されている。しかし、この両者を合わせると、転職経験者のほうが仕事にやりがいを感じている者が多く、しかも転職をかさねるごとに積極的に回答する者のパーセントが高くなる傾向にある。

「非常にやりがいを感じる」という者を高卒者についてみると、転職経験のない者では4.7%であるが、転職経験のある者では9.7%の者が積極的に回答している。つまり、中卒者よりも高卒者のほうが転職することによって仕事にやりがいを見つける率の高い事がわかる。特に「いますぐやめたい」という者は転職経験のない者に4.8% (7人) 表明されているのに対して、転職経験のある者には皆無であることは注目してよい。

表17 やりがい意識別転職経験

転職のやりがい	全					中					高							
	あり なし	あり なし	あり なし	あり なし	あり なし	あり なし	あり なし	あり なし	あり なし	あり なし	あり なし	あり なし	あり なし	あり なし	あり なし			
非常にやりがいがある	5.6	18.3	17.6	19.5	17.9	21.4	5.8	17.7	18.9	16.1	16.0	16.7	4.7	20.7	13.2	33.3	33.3	50.0
やりがいを感じる	51.0	41.6	44.8	31.1	46.4	50.0	47.8	41.1	42.4	33.9	48.0	50.0	62.1	43.1	52.6	20.0	33.3	50.0
まあまあ	24.1	29.6	26.7	35.1	32.1	28.6	24.9	30.1	27.6	33.9	32.0	33.3	21.6	27.6	23.7	40.0	33.3	
苦ではないが感じていない	11.5	7.7	9.1	7.8	3.6		12.9	8.0	8.7	9.7	4.0		6.8	6.9	10.5			
いまずぐやめたい	6.4	2.1		3.9			6.8	2.7	2.4	4.8			4.8					
わからない	0.9	0.7					1.2											
無回答	0.5			2.6			0.6	0.4		1.6				1.7				1.6

◆ 技能者の仕事について (Q 1 2)

前問までに仕事に対する興味や、やり甲斐についてみてきたが、Q 1 2では、技能労働者の立場について尋ねてみた。

そしてこゝでは、「損な立場」「気持ちの楽な立場」「苦労もあるが喜びもある立場」「よろこびのある立場」の四つに分けて問いかけてみたところ、全体の傾向として、「気持ちの楽な立場」に7.1%、「苦労もあるが喜びもある立場」に62%、「よろこびのある立場」に2.0%と、64%の者が「ものを作る」ということになんらかの「喜び」をみつけているようであるが、逆に「損な立場」であるとする者も16.2%いる。

これを学歴別にみると、「損な立場」と考える者が中卒者に若干多くみられ、「気持ちの楽な立場」とする者は高卒者に若干多くみられる他は、全体傾向とあまり違わない。

しかし、科別では、若い年代の人が68.7%「喜び」を感じているのに対して、年代が古くなるにしたがって、「喜び」を感じる程度は少なくなり、38年修了生では56.8%と、全体の平均よりも7%あまりも低いことが目につく。この傾向は、「やり甲斐を感じている」という者が年代が古くなるにつれて、そのパーセントが高まっていくのに比べて、まったく逆の現象であるといわねばならない。

科別では、「喜び」をもっとも感じている科は板金科の71.8%で、ついで自動車整備科、電気機器科の約65%、機械科、溶接科の約60%となっている。

ところで、表18はQ 1 2に転職の有無をクロスさせたものであるが、これによると、まず全体の傾向として、「損な立場」「気持ちの楽な立場」「苦労もあるが喜びもある立場」に表明した者は、いずれも転職経験者が約30~33%、転職経験のない者が約57~70%である。しかしまた、「喜び」を感じている者のなかには転職経験者が53%もあり、転職経験のない者を上まわっていることは、注目してよいことである。

表 1 8 技能者としての仕事に対する意識別転職経験

Q35-1 Q12	全 体		中 卒		高 卒	
	転 職 経 験		転 職 経 験		転 職 経 験	
	あり	なし	あり	なし	あり	なし
損な立場	33.3	66.7	35.0	65.0	26.7	73.3
気持ちの楽な立場	32.8	67.2	38.8	61.2	16.7	83.3
苦勞もあるが喜びもある	30.3	69.7	30.8	69.2	28.6	71.4
喜びのある立場	52.6	47.4	43.8	56.2	100.0	

この「喜び」のある立場と答えた者について学歴別にみると、中卒者では43.8%であるが、高卒者では実数が少ない（3人）とはいえ、100%の者が転職することによって「喜び」を得ている。

◆ ホワイトカラー労働者との比較について（Q13）

Q11, Q12では 比較の対象を精神的な満足感という一面からとらえようとしたが、こゝでは、ホワイトカラー労働者との比較でとらえてみたい。つまり、技能労働者、とりわけ本調査の対象となった若い技能者は、とかく汗や油にまみれて働くことを嫌い、ホワイトカラーやサービス業への転職を試みるものがしばしばある。そこで、Q13は、ブルーカラー労働者のホワイトカラー労働者に対する権利意識について尋ねてみた。

まず全体傾向としては、「貢献度がホワイトカラーのほうが上である」という者は12.5%、「まったく同じ」という者は39.4%、「技能労働者のほうが上である」という者は35.1%であった。

学歴別では、「まったく同じ」と答えた者は、中卒者より高卒者に8%高く表明されており、逆に「ホワイトカラーのほうが上である」と答えた者は中卒

者に13.0%、高卒者に11.0%と、中卒者に若干高くあらわれている。

年度別では、「まったく同じである」と答えた者は若い年代ほど少ないが、古い年代になるにつれて「同等」の権利意識を高くもつ傾向にある。また、「ブルーカラーのほうが上である」とする者も、一般に、若い年代より古い年代にいくにしたがって高くなる傾向があるが、そのカーブには若干の波がある。

科別では、「ホワイトカラーのほうが上である」とする者は溶接科が15.9%、機械科が15.2%、板金科13.7%とこれにつづくが、自動車整備科、電気機器科は9.1～10.6%となっている。

8 職業訓練および職業訓練校に対する意識について

◆ 技能の習得場所について (Q41)

Q41は個々の訓練生が身につけている技能や知識はどこで習得したものであるかについて尋ねたものである。

まず全体として、「職業訓練校」と答えた者が71.2%でもっとも高いが、「仕事をしながら自然と」と答える者も18%いる。

これを学歴別にみると、「職業訓練校」と答えた者は中卒者の70.3%に対して、高卒者の74.5%と高卒者のほうにやや高く表明されているが、「仕事をしながら自然と」と答える者は高卒者の14.4%に対して中卒者では18.9%になっている。

この二つの項目の関係は年代別にみた場合、かなりはっきりとした特徴をみることができる。すなわち、「職業訓練校」と答える者は、若い年代よりも古い年代にいくにつれて減少し、47年修了生では89.4%であるのに対して38年修了生では45.6%とほぼ半分になっている。そして、ここで目につくことは、45年修了生を境として、「職業訓練校」で習得したと答える者が減少し、「仕事をしながら自然と」と答える者が増加していることである。すなわち「仕事をしながら自然と」と答える者は、逆に若い年代から古い年代にいくにつれて増加し、47年修了生では7.3%であるのに対して、38年修了生では33.6%と約4.6倍にもなっている。また、「一人で勉強した」と答える

者も同じように若い年代から古い年代にいくにつれて増加している。

これを科別にみると、「職業訓練校」でと答えた者は溶接科の78.6%がもっとも高く、ついで自動車整備科の73%、機械科の72%、板金科の70.4%とつづき、電気機器科は63.7%ともっとも低く表明されている。また、「仕事をしながら自然と」と答えた者は電気機器科がもっとも高く22.8%、ついで板金科の19.2%、自動車整備科の17.9%、機械科の15.5%であり、溶接科は14%ともっとも低く表明されており、一般的に言えば、電気機器科の修了生は訓練校で習得した技能が職場であまり発揮されておらず、その技能の習得は on the job であるのに対して、溶接科の修了生は訓練の内容と職務とが密接な関係にあることがわかる。

これからの人生と職業訓練について (Q42)

Q42は訓練校を修了したことがこれからの人生にどのような意味をもつかについて尋ねてみた。ここでは、「プラスになると確信する」、「プラスになるような気がする」、「マイナスになるような気がする」の三つの選択枝について問いかけてみた。

その結果、全体としてもっとも高く表明されたのは「プラスになるような気がする」と答えた者の56.5%で、「プラスになると確信する」と答えた者の26.3%をあわせて、82.8%の者を好意的回答者としてみることができる。しかし、表明された率こそ低い、「マイナスになるような気がする」と答えた2.8%、それに「わからない」とする者が古い年代に高く表明されたことを考えると、約17%の者が否定的に回答していると解される。

これを学歴別にみると、「プラスになると確信する」者は高卒者に30.3%、中卒者に25.2%と高卒者に高く表明され、「マイナスになるような気がする」者は中卒者に、そして「わからない」者も高卒者よりも中卒者に高く表明されている。

これを年代別にみると、「プラスになると確信する」という者については、年代の経過による特徴はみられない。すなわち「プラスになると確信する」者

は47年修了生の33.5%と40年修了生の31.9%が高いが、42年修了生では28.2%、38年、45年、46年修了生では23~24%であり、44年修了生では19.8%ともっとも低く表明されている。また「プラスになるような気がする」という者については、46年修了生の66.8%がもっとも高く、38年の48%がもっとも低く表明されているが、他の年代はいずれも52%から57%のあいだにある。しかし、「わからない」という者は若い年代より古い年代にいくにつれて増加しており、47年修了生の7.3%に対して38年修了生では24%と約3.3倍にも達している。

次に、科別に「プラスになると確信する」という者を分析すると、自動車整備科の32.8%がもっとも高く、ついで板金科、溶接科の29.7%、28%がこれにつづくが、機械科、電気機器科ではそれぞれ21%と低く表明されている。しかし、これを「プラスになるような気がする」という者とあわせてみると、機械科の79%を除けば、他の四科はいずれも82%から86%の者が好意的に回答していることになる。

また、興味検査の得点別では「プラスになると確信する」者は、Gグループの37.5%がもっとも高く、M、Bグループはそれぞれ32%である。

訓練校入校の相談について (Q43)

Q43は職業訓練校への帰属意識について(この回答の中には職業訓練の効果、母校愛なども含まれる)尋ねたもので、後輩などから職業訓練校へ入りたいと相談されたらどのような態度をとるかと問いかけたところ、まず全体としては、「自信をもってすすめる」者は20.5%であるが、「相手が希望していればすすめる」者の68.9%をあわせた約90%は、職業訓練校に入ることをすすめると答えている。

これを学歴別にみると、「自信をもってすすめる」者は中卒者の19.1%よりも高卒者の25.5%と高卒者のほうに高く表明されているが、「相手が希望していればすすめる」者は高卒者の66.8%に対して、中卒者の69.5%と中卒者のほうにやや高く表明されている。

年代別にこれをみると、「自信をもってすすめる」者は、40年修了生の36.2%がもっとも高く、44年修了生の13.8%がもっとも低い。そして、他の年代はいずれも20%から22%の間にある。「相手が希望していればすすめる」者は、44年修了生の79.2%がもっとも高く、ついで46年修了生の76.9%であるが、もっとも低いのは40年修了生の59.5%である。しかし、「自信をもってすすめる」と「相手が希望していればすすめる」者の両者をあわせると、38年修了生の83.2%、45年修了生の86.3%、47年修了生の88.2%を除いて、いずれの年代も90%を上まわっていることが注目される。

科別では、「自信をもってすすめる」者は、自動車整備科の29.4%がもっとも高く、ついで板金科の22%であるが、電気機器科、溶接科は17%、機械科では14.4%ともっとも低くなっている。そして、「相手が希望していればすすめる」者の両者をあわせると、自動車整備科の93.5%がもっとも高く、ついで板金科の91.7%であるが、溶接科では89.7%、機械科では88.3%で、電気機器科の82.5%がもっとも低い。

興味検査の得点別では、「自信をもってすすめる」者は、Mグループの22%がもっとも高く、Gグループの17.5%、Bグループの16%となっている。また、「相手が希望していればすすめる」者はB・Mグループには72%いるが、Gグループでは67.5%である。

進路相談について (Q44)

ところで、訓練校と他の教育機関との進路選択の比較、あるいは直接に就職することの是非については、どのような態度をもっているのであろうか。Q44は、そうした進路の選択という行為の中で、職業訓練校がどのように位置づけられているかについて分析したものである。

まず全体としてもっとも高く表明されたものは、「高校や大学に進学することをすすめる」者が38%いることで、「訓練校に行くことをすすめる」者の28.2%よりかなり高く表明していることである。

これを学歴別にみると、「高校や大学に進学することをすすめる」者は、高卒者の35.1%よりも中卒者に高く表明され、38.8%の者が進学をすすめたいとしている。しかし一方で、「訓練校に行くことをすすめる」者も、高卒者の26%よりも中卒者の28.9%と中卒者のほうに高く表明されている。

これを年代別にみると、「高校や大学に進学することをすすめる」者は38年、46年、42年修了生の順に高く、それぞれ48.8%、42.4%、41%であり、他の年代はいずれも36%から37%のあいだにある。また、「訓練校に行くことをすすめる」者は、40年修了生の42.5%がもっとも高く、ついで47年修了生の34.6%、45年修了生の29.4%がこれにつづくが、42年、44年、46年修了生は23%から26%のあいだにあり、38年修了生の18.4%がもっとも低く表明されている。

また科別では、「高校や大学に進学することをすすめる」者は機械科の44.3%、電気機器科の42.0%に高くみられるが、自動車整備科、板金科、溶接科はいずれも33%から35%のあいだにある。そして「訓練校に行くことをすすめる」者は、板金科の35.9%がもっとも高く、ついで自動車整備科の33.6%、溶接科の31.8%であるが、電気機器科では24.6%、そして機械科の19.4%がもっとも低い。

学 歴		年 代									職 業					年 代		
F 1	全 体	中 卒	高 卒	38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自 動 車	電 機 器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40

居 住		年 代									職 業					年 代		
F 2	全 体	中 卒	高 卒	38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自 動 車	電 機 器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40
1. 自宅から通勤	687	674	731	640	798	658	707	719	662	659	673	752	643	690	626	680	620	775
2. 社宅・寮・アパートから通勤	306	319	260	352	191	333	293	281	325	330	319	244	357	282	373	240	38.0	225
3. 無 回 答	07	07	09	08	1.1	09				13	10	08	04	28		80		

仕 事 の 立 場		年 代									職 業					年 代		
F 3	全 体	中 卒	高 卒	38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自 動 車	電 機 器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40
1. 自営(家事手伝)	50	42	77	104	96	43	52	31	33	22	23	84	12	83	47	40	40	50
2. 技能系勤労者	482	509	395	368	405	444	440	550	537	546	604	325	480	510	542	560	500	475
3. 技術系勤労者	336	321	389	264	266	342	405	331	364	358	253	424	386	283	318	320	440	425
4. 事務系勤労者	17	13	29	56	32		26	13		06	16	23	23	07	09			
5. 営業系勤労者	64	61	67	136	106	94	26	56	26	34	54	95	58	55	28		20	25
6. その他	34	36	29	64	74	51	43	13	20	06	31	38	29	34	37			25
7. 無 回 答	17	18	14	08	21	26	08	06	20	28	19	11	12	28	19	80		

企 業 規 模		年 代									職 業					年 代		
F 4	全 体	中 卒	高 卒	38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自 動 車	電 機 器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40
1. 10人未満	146	133	193	176	192	188	155	131	106	117	82	190	123	220	131	80	100	250
2. 11人~30人	111	109	120	160	138	120	69	75	106	123	78	171	70	97	131	280	120	125
3. 31人~100人	127	128	125	96	138	103	121	125	166	134	152	141	70	138	112	80	120	150
4. 101人~300人	167	165	173	136	117	128	155	194	205	190	144	198	175	146	160	160	180	225
5. 301人~1000人	141	146	125	128	138	103	147	144	139	173	179	103	175	117	121	120	240	100
6. 1001人~3000人	153	147	173	128	117	145	233	169	179	106	206	139	146	124	112	80	140	75
7. 3001人以上	143	161	82	160	149	205	112	162	86	140	144	50	241	138	224	120	100	75
8. 無 回 答	11	11	09	16	11	08	08		13	17	15	08		20	09	80		

興味の対象 Q 1	全体 中卒 高卒			38年 40年 42年 44年 45年 46年 47年							機械 自動車 電器 板金 溶接					1~30 40~70 80~		
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40
1. スポーツ	131	144	82	88	85	94	112	144	146	195	136	84	117	172	196	120	120	250
2. 趣味	60	65	43	32	32	34	52	56	73	112	66	58	94	28	47	80	140	25
3. 恋愛・結婚	10.8	11.2	96	128	96	103	164	81	126	78	10.9	11.5	94	103	121	160	100	100
4. 旅行	11.5	11.4	115	40	85	145	141	156	139	84	124	95	111	83	187	120	80	100
5. 金もうけ	10.7	90	168	136	170.	111	138	94	73	73	11.7	11.8	70	166	37	80	80	25
6. 仕事の勉強	8.1	7.5	10.1	128	7.5	94	6.9	50	7.3	8.4	8.2	80	11.7	4.8	6.5	40	80	100
7. かけごと	1.2	1.0	1.9	0.8		2.6	0.8	3.1	0.7		0.8	1.1	2.9		0.9			
8. 組合・政治活動	1.2	1.2	1.0	2.4	1.1	1.7	0.8	1.9		0.6	1.9	1.1	1.2	0.7				
9. 宗教活動	0.6	0.7	0.5		1.1	0.9	0.8	0.6	1.3		0.4	0.4	0.6	1.4	0.9			
10. 家庭の幸福	4.8	5.0	3.9	9.6	16.0	6.0	2.6	1.2	2.0	1.7	6.2	5.0	1.2	6.2	4.7		2.0	2.5
11. 流行	0.9	1.0	0.5	0.8				1.2		2.8	1.2	0.8	1.2	0.7		4.0	6.0	2.5
12. 特になし	1.7	1.9	1.0	0.8		1.7	1.7	1.2	2.7	2.8	1.6	1.5	2.3	1.4	1.9	4.0	4.0	2.5
13. その他	5.7	4.9	8.7	4.8	2.1	6.8	5.2	6.3	6.0	7.3	5.1	6.5	7.6	4.1	4.7	8.0	4.0	12.5
14. 無回答	23.7	24.3	22.0	25.6	25.4	22.2	19.8	26.4	24.3	22.0	19.4	28.6	22.7	25.5	21.6	24.0	24.0	20.0

悩みごと Q 2	全体 中卒 高卒			38年 40年 42年 44年 45年 46年 47年							機械 自動車 電器 板金 溶接					1~30 40~70 80~		
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40
1. 恋愛・結婚	8.3	8.2	8.7	7.2	4.3	10.3	12.9	8.8	8.6	6.2	6.2	9.5	6.4	9.7	11.2	12.0	8.0	7.5
2. お金	12.6	12.8	12.0	10.4	12.8	12.7	13.8	15.0	13.3	10.6	13.6	9.9	9.9	17.9	14.0	12.0	10.0	5.0
3. 仕事の勉強	9.9	9.8	10.1	12.0	9.6	10.3	7.8	8.1	9.3	11.7	8.9	10.7	12.9	9.0	6.5	12.0	14.0	20.0
4. 仕事と人間関係	23.0	21.9	26.8	24.0	18.1	19.6	25.0	26.2	21.2	24.6	22.2	22.1	28.7	20.7	21.5	16.0	22.0	22.5
5. 組合・政治活動	0.6	0.7	0.5	0.8	2.1	0.9		0.6	0.7		1.6	0.4			0.9			
6. 宗教活動	0.1	0.1					0.9							0.7				
7. 家庭の幸福	2.0	2.0	1.9	4.0	3.2	4.3			1.3	2.2	2.7	1.5	1.2	2.8	1.9			
8. 特になし	4.4	4.6	3.4	2.4	5.3	6.0	4.3	6.9	2.7	3.4	6.6	3.4	2.9	3.4	4.7	4.0	2.0	5.0
9. その他	1.7	1.2	3.4	0.8	1.1	0.9	1.7	1.8	3.3	1.7	1.2	1.9	3.5	1.4			4.0	5.0
10. 無回答	37.4	38.7	33.2	38.4	43.5	35.0	33.6	32.6	39.6	39.6	37.0	40.6	34.5	34.4	39.3	44.0	40.0	35.0

仕事と生活																			
Q 3	全体	中卒	高卒	38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機器	板金	溶接	1~30	40~70	80~	
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40	
1. 私生活中心	312	316	304	208	234	256	414	350	438	263	331	286	386	235	328	280	340	300	
2. 仕事中心	50	52	43	128	43	43	52	44	13	39	43	53	35	69	56	40	20	75	
3. 両立	500	486	538	568	606	573	431	475	450	447	513	531	474	510	402	440	420	550	
4. わからない	93	105	53	16	53	68	69	113	99	179	74	84	58	110	196	160	160	75	
5. その他	31	29	43	5.6	43	5.1	1.7	1.3		50	23.	42	41	34	0.9	40	60		
6. 無回答	14	12	19	24	21	0.9	1.7	0.6		22	1.6	0.4	0.6	42	0.9	40			

転職についての意見																			
Q 4	全体	中卒	高卒	38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機器	板金	溶接	1~30	40~70	80~	
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40	
1. 転職してもよい	149	149	149	200	181	145	198	138	133	89	136	160	135	131	196	160	180	125	
2. 訓練が生かせる ならば	289	295	264	160	277	299	276	281	317	363	218	290	345	310	327	280	360	375	
3. よい条件ならば	123	125	115	168	160	111	95	138	113	95	152	103	105	138	112	40	180	50	
4. かわるべきでない	177	178	173	192	191	171	129	150	212	190	187	184	181	132	196	200	80	225	
5. わからない	143	139	159	112	74	154	138	156	172	162	163	137	135	179	75	160	100	175	
6. その他	111	106	130	144	106	111	164	131	46	95	128	118	99	103	84	120	100	50	
7. 無回答	08	08	10	24	11	0.9		0.6	0.7	0.6	1.6	0.8		0.7	1.0	40			

職業の価値																			
Q 5	全体	中卒	高卒	38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機器	板金	溶接	1~30	40~70	80~	
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40	
1. お金もちになる	22	23	19	24	21	34	0.9	2.5	2.6	1.7	3.5	1.5	0.6	2.8	2.8	40			
2. 会社の経営や管理 をする	1.6	1.5	1.9	0.8	3.2		4.3	1.9	1.3	0.6	0.8	3.4	0.6	1.4	0.9				
3. その日その日を無 事に暮らす	143	158	91	96	170	111	138	130	225	129	144	69	199	131	253	120	120	200	
4. 腕のよい技能者に なる	147	148	139	80	96	129	129	144	152	240	105	148	193	138	179	360	180	150	
5. 人から尊敬される	333	334	333	384	266	359	31.9	35.0	33.9	30.6	38.2	35.1	27.4	34.5	25.2	20.0	38.0	45.0	
6. 社会の福祉に役立つ	48	44	62	64	32	60	7.8	5.6	0.7	4.5	2.7	5.0	8.8	2.1	6.5		40		
7. 幸せな家庭をきづく	153	153	155	152	234	179	13.7	16.3	9.9	14.0	16.3	15.3	8.8	20.0	16.8	24.0	10.0	7.5	
8. 人のために奉仕する	4.6	4.4	5.3	8.8	7.4	3.4	5.2	2.5	3.3	3.3	4.7	5.0	5.8	4.8	0.9		2.0		
9. わからない	5.6	5.3	6.7	4.8	6.4	4.3	5.2	6.3	6.6	5.6	6.2	8.0	4.7	4.1	1.9		14.0	7.5	
10. その他	3.3	2.5	6.2	4.8	1.1	3.4	4.3	2.5	4.0	2.8	2.3	5.0	4.1	2.7	0.9	4.0	2.0	5.0	
11. 無回答	0.3	0.3		0.8		1.7					0.4			0.7	0.9				

努力することについて

Q 6	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	機器	板金	溶接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40	
1. Aに賛成	49	53	34	16	64	60	43	56	86	22	54	38	35	41	93	40	40	25	
2. どちらかといえばAに賛成	108	119	72	88	96	103	147	156	99	73	11.7	9.5	10.5	103	131	80	180	25	
3. わからない	39	42	29	24	21	34	17	63	60	39	5.1	3.1	5.3	34	19	40	50		
4. どちらかといえばBに賛成	436	421	485	440	351	435	457	431	437	464	436	458	450	422	374	400	260	525	
5. Bに賛成	366	362	380	432	468	359	336	294	318	396	342	374	357	400	374	440	480	375	
6. 無回答	02	03				09				06		04		09		40			

Q 7	勤く目的			全体 中卒 高卒							機械 自動車 電機 機器 板金 溶接					1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40
1. 豊かな生活をする 資金をうる	140	150	106	120	64	145	103	144	166	190	140	118	140	117	224	320	160	125
2. 人々の幸せ、社会 の発展につくす	131	129	135	224	213	103	103	81	106	123	140	126	146	110	121	100	100	
3. 自分の存在を世間 の人に知らせる	87	78	120	72	85	103	78	94	86	89	66	99	76	97	112	160	120	100
4. 自分自身の成長	550	553	543	472	574	556	630	594	550	503	556	588	521	580	459	280	560	525
5. わからない	45	49	29	24	32	51	34	56	46	56	54	23	41	55	65	120	40	50
6. その他	40	33	67	88	32	25	52	25	46	22	2.7	4.6	6.4	4.1	1.9	120	20	7.5
7. 無回答	0.6	0.8				1.7		0.6		1.7	1.6		1.2					2.5

Q 8	将来の目標			全体 中卒 高卒							機械 自動車 電機 機器 板金 溶接					1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40
1. 優秀な技能者として すごす	318	332	269	272	330	299	302	306	291	402	362	260	368	331	262	480	320	325
2. 社会的に成功する	66	63	77	80	64	60	52	63	86	56	7.4	6.9	7.1	4.1	5.6	80	120	50
3. とくに希望はなく なりゆきにまかせる	111	118	87	64	96	103	78	131	199	89	12.4	9.5	10.6	9.6	15.9	80	120	150
4. 機会があれば他の 仕事をしたい	37.9	37.7	38.4	37.6	37.2	41.9	44.8	37.5	35.7	32.9	35.0	41.6	36.8	33.1	43.0	280	320	350
5. わからない	50	50	48	7.2	3.2	5.1	6.0	5.0	2.0	6.2	4.3	6.5	2.3	8.3	2.8	40	40	50
6. その他	69	53	125	11.2	10.6	4.3	6.0	7.5	4.0	6.2	4.3	8.4	5.8	10.4	6.5	40	80	7.5
7. 無回答	0.7	0.7	1.0	2.4		2.5			0.7		0.4	1.1	0.6	1.4				

会社での処遇																			
Q 9	全体中卒高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自 動 車	電 機 器	板 金 溶 接	1~30	40~70	80~		
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N= 151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40	
1. 自分のほうがよい	83	75	111	88	75	86	43	75	80	117	62	115	47	97	93	40	80	175	
2. よいのではないか と思う	451	448	457	448	436	444	447	431	456	475	444	446	455	440	477	480	420	475	
3. 差がない	212	215	202	168	234	231	302	231	232	129	222	176	246	186	262	120	280	125	
4. 自分のほうが安い	105	102	115	56	117	68	121	150	126	89	89	88	129	125	121	120	80	75	
5. わからない	141	153	101	216	138	162	78	113	106	173	183	156	117	138	47	200	140	100	
6. 無回答	08	07	14	24		09	09			17		19	06	14		40		50	

職場配置																			
Q 1 0	全体中卒高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自 動 車	電 機 器	板 金 溶 接	1~30	40~70	80~		
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40	
1. 同じ職場にいる	456	425	564	320	457	410	362	519	497	547	428	646	292	366	439	640	580	525	
2. 多少の関係がある	361	379	296	320	340	368	475	375	351	318	342	221	503	440	411	240	260	400	
3. まったくちがう 職場にいる	148	159	106	272	203	171	129	100	119	101	187	99	158	166	131	40	140	50	
4. わからない	25	26	24	48		34	17	06	33	28	35	19	35	14	19	40	20	25	
5. 無回答	10	11	10	40		17	17			06	08	15	12	14		40			

仕事のやりがい																			
Q 1 1	全体中卒高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自 動 車	電 機 器	板 金 溶 接	1~30	40~70	80~		
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40	
1. 非常に感じている	96	97	91	192	170	77	78	75	27	89	93	141	76	90	28		60	100	
2. やりがいを感じている	481	458	563	496	425	546	465	431	502	492	459	522	485	455	458	480	540	475	
3. とくに感じていない	257	263	235	200	266	240	310	288	291	212	261	225	281	269	271	280	240	200	
4. 感じていない	103	113	67	88	64	94	129	125	113	95	109	73	82	131	159	40	100	150	
5. いますぐやめたい	51	56	34	16	53	34	09	81	60	78	66	23	76	34	65	120	40	25	
6. わからない	06	08			11	09			07	17	04	08		07	19	40	20		
7. 無回答	06	05	10	08	11		09			17	08	08		14		40		50	

技能者の仕事 Q12	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自動車	電機器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. 損な立場だと思う	162	167	144	184	244	171	155	169	113	140	171	153	187	110	196	80	160	100
2. 気持の楽な 立場だと思う	71	67	87	96	43	68	86	69	80	56	86	84	48	48	84	40	60	25
3. ものをつくるよる とびのある立場	620	615	635	560	595	607	621	606	648	670	579	642	620	690	571	680	680	700
4. 苦労は全然感じない	20	22	14	08	43	34	26	19	07	111	12	11	29	28	37		20	25
5. わからない	115	119	101	104	64	120	86	137	152	06	148	99	99	117	93	200	80	125
6. 無回答	12	10	19	48	11		26				04	11	23	07	19			25

ホワイトカラー 労働者との比較 Q13	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自動車	電機器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. 事務系職員のほうが上	08	07	14			09	26		13	11		11	12	07	19	40	20	
2. 現状では差別あり すぎる	117	123	96	80	106	145	86	119	132	134	152	80	94	131	140	280	140	175
3. まったく同じ	395	375	456	464	457	427	440	344	338	353	412	451	361	345	327	280	300	350
4. 技能を優遇すべきだ	351	353	347	384	351	316	370	394	359	296	303	344	373	379	411	280	400	300
5. わからない	103	114	63	40	64	77	60	106	132	184	113	76	135	117	75	120	140	125
6. その他	19	18	24	32	11	17	09	37	13	11	12	38	12	14	09			
7. 無回答	07	10			11	09	09		13	11	08		12	07	19			50

いまの仕事を 遂行する能力 Q14	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自動車	電機器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. 十分な力をもっている	104	108	91	192	202	162	78	63	40	62	113	107	82	103	112		40	25
2. 一人前の力をもっている	204	202	211	344	319	222	198	200	146	89	202	223	205	186	187	120	120	75
3. 人の助けが必要	458	459	453	304	351	462	534	543	543	419	455	168	473	421	458	440	360	575
4. 失敗がしばしばある	203	197	226	96	96	111	181	175	258	390	179	179	216	262	224	440	460	250
5. わからない	28	30	19	56	21	43	09	19	13	34	47	23	18	21	19		20	50
6. 無回答	03	04		08	11					06	04		06	07				25

仕事のむづかしさ

Q 1 5	全体 中 卒 高 卒			3 8年	4 0年	4 2年	4 4年	4 5年	4 6年	4 7年	機 械	自 動 車	電 機 器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. は い	643	617	736	568	723	633	663	619	649	664	572	733	573	710	617	720	720	625
2. いいえ	128	138	96	136	106	145	148	175	119	79	140	93	123	131	196		80	75
3. どちらともいえない	224	240	168	296	160	222	189	206	225	246	288	179	292	145	187	280	200	275
4. 無回答	04	05			11				07	11			12	14				25

研究心

Q 1 6	全体 中 卒 高 卒			3 8年	4 0年	4 2年	4 4年	4 5年	4 6年	4 7年	機 械	自 動 車	電 機 器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. は い	357	329	457	544	542	403	336	313	272	223	327	450	315	338	290	120	340	275
2. いいえ	115	114	115	72	64	68	122	156	119	157	101	111	99	152	131	200	160	275
3. どちらともいえない	518	546	418	376	393	512	542	525	602	592	560	431	579	490	570	640	460	450
4. 無回答	10	11	10	08		17		06	07	28	12	08	06	20	09	40	40	

理解力

Q 1 7	全体 中 卒 高 卒			3 8年	4 0年	4 2年	4 4年	4 5年	4 6年	4 7年	機 械	自 動 車	電 機 器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. は い	379	368	418	385	574	453	413	325	265	206	335	439	380	372	346	120	220	150
2. いいえ	133	139	111	56	54	94	112	112	232	202	163	103	111	152	140	280	220	275
3. どちらともいえない	486	490	471	351	372	453	474	563	496	592	494	458	509	476	514	600	560	575
4. 無回答	02	03		08					07		08							

企画力

Q 1 8	全体 中 卒 高 卒			3 8年	4 0年	4 2年	4 4年	4 5年	4 6年	4 7年	機 械	自 動 車	電 機 器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. は い	738	722	788	872	851	811	732	755	682	564	739	771	696	738	710	480	560	625
2. いいえ	91	100	58	32	43	60	113	114	66	167	109	69	76	103	113	200	140	100
3. どちらともいえない	163	168	149	88	106	112	155	125	232	263	144	153	216	152	168	280	280	250
4. 無回答	08	10	05	08		17		06	20	06	08	08	12	07	09	40	20	25

指導力

Q19	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	器板	金溶	接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40	
1. はい	715	719	702	880	883	820	750	706	616	513	720	737	713	759	598		440	600	550
2. いいえ	47	48	43	32	43	26	60	63	60	40	39	45	35	55	75		120	60	100
3. どちらともいえない	236	232	250	80	74	145	190	231	324	447	233	218	252	186	327		440	340	350
4. 無回答	0.2	0.1	0.5	0.8		0.9					0.8								

規律の遵守

Q20	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	器板	金溶	接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40	
1. はい	696	702	678	808	744	726	603	631	636	742	732	714	707	669	589		600	720	750
2. いいえ	81	75	101	40	32	86	181	75	92	63	66	62	95	117	93		40		75
3. どちらともいえない	220	222	211	144	224	188	207	294	272	190	198	216	199	214	318		360	260	175
4. 無回答	0.3	0.1	1.0	0.8			0.9			0.6	0.4	0.8							2.0

協調性

Q21	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	器板	金溶	接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40	
1. はい	702	691	740	712	755	684	646	719	636	753	696	714	708	724	645		600	780	675
2. いいえ	35	38	24	32	43	26	52	37	46	18	39	31	35	21	56		80	40	25
3. どちらともいえない	261	270	231	256	202	290	302	238	311	229	265	255	245	255	299		320	180	275
4. 無回答	0.2	0.1	0.5					0.6	0.7				1.2						2.5

協力

Q22	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	器板	金溶	接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40	
1. はい	514	503	552	624	532	582	500	463	391	541	471	539	573	517	458		320	560	500
2. いいえ	94	97	87	32	64	68	181	131	139	46	93	73	105	110	112		40	40	200
3. どちらともいえない	384	393	351	328	393	350	319	400	457	407	428	384	322	345	430		600	380	300
4. 無回答	0.8	0.7	1.0	1.6	1.1			0.6	1.3	0.6	0.8	0.4		2.8			4.0		

知識の活用

Q 2 3	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自動車	電 器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. は い	445	442	456	512	680	556	440	425	311	335	389	542	398	476	374	160	440	325
2. いいえ	158	159	154	112	64	68	250	144	212	207	175	122	187	131	196	240	140	250
3. どちらともえない	396	398	390	368	256	376	310	431	477	458	432	336	415	393	430	600	420	425
4. 無回答	01	01		08							04							

能力の活用

Q 2 4	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自動車	電 器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. は い	517	499	582	536	639	590	517	481	457	475	506	595	468	490	467	320	420	550
2. いいえ	190	204	139	200	149	154	199	166	166	240	183	160	211	213	215	280	240	275
3. どちらともえない	293	297	279	264	212	256	284	377	377	285	311	425	321	297	318	400	340	175
4. 無回答																		

仕事の速さ

Q 2 5	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自動車	電 器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. は い	164	178	120	72	33	120	112	150	205	340	163	119	187	186	215	200	220	300
2. いいえ	477	490	428	600	712	598	517	489	385	230	475	492	433	469	523	280	380	300
3. どちらともえない	357	331	447	320	255	282	362	361	410	430	358	385	380	345	262	520	400	400
4. 無回答	02	01	05	08			09				04	04						

勤務態度

Q 2 6	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自動車	電 器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. は い	634	621	678	706	765	700	621	550	510	653	584	687	655	593	645	320	620	600
2. いいえ	53	52	58	16	33	26	69	69	73	67	54	344	41	76	84	80	40	75
3. どちらともえない	311	324	264	278	202	265	310	375	410	280	358	279	298	331	271	600	320	325
4. 無回答	02	03				09		06	07		04		06					20

安全

Q 2 7	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自 動 車	電 機	器 板	金 溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. は い	390	394	375	520	648	478	353	319	311	257	373	439	368	393	336	200	420	300
2. いいえ	193	199	173	96	97	103	199	206	252	308	191	161	223	193	234	160	220	225
3. どちらともえない	416	406	452	376	255	419	448	475	437	435	432	400	409	414	430	640	360	475
4. 無回答	0.1	0.1		0.8							0.4							

仕事上の勉強

Q 2 8	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自 動 車	電 機	器 板	金 溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. は い	775	746	875	800	861	803	793	731	748	743	712	859	830	731	692	640	700	850
2. いいえ	54	58	43	16	54	42	69	75	67	51	51	23	65	55	122	120	60	75
3. どちらともえない	169	193	82	168	85	155	138	194	185	206	233	118	105	207	186	240	240	75
4. 無回答	0.2	0.3		1.6							0.4			0.7				

職場改善

Q 2 9	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自 動 車	電 機	器 板	金 溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. は い	681	654	778	744	819	726	655	638	655	614	611	767	620	738	664	520	680	650
2. いいえ	137	156	73	120	64	120	146	137	146	185	159	110	164	103	150	240	200	150
3. どちらともえない	178	185	149	112	106	154	199	225	199	201	226	115	216	159	177	240	120	200
4. 無回答	0.4	0.5		2.4	1.1						0.4	0.8			0.9			

歩どまり

Q 3 0	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自 動 車	電 機	器 板	金 溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. は い	379	357	456	512	489	368	302	388	325	324	362	408	380	372	355	320	460	300
2. いいえ	196	210	145	120	118	162	310	162	218	246	233	149	199	228	168	280	180	325
3. どちらともえない	423	432	394	368	393	470	388	450	444	430	405	439	415	400	477	400	360	350
4. 無回答	0.2	0.1	0.5						1.3			0.4	0.6					2.5

表現力

Q31	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	器板	金溶	接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40	
1. は い	208	195	255	280	309	240	216	213	133	140	214	237	205	186	159	40	240	150	
2. いいえ	413	425	370	296	266	350	465	381	516	519	381	396	432	469	421	560	480	525	
3. どちらともいえない	375	375	375	424	425	410	319	406	344	324	401	363	357	345	411	400	280	275	
4. 無回答	04	05							07	17	04	04	06	09				50	

責任感

Q32	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	器板	金溶	接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40	
1. は い	813	794	880	912	946	880	810	775	722	743	759	885	813	814	766	640	740	700	
2. いいえ	26	27	24	08	11		35	44	40	28	31	16	23	21	47	40	40	25	
3. どちらともいえない	160	178	96	80	32	120	155	181	238	229	210	95	164	165	187	320	220	275	
4. 無回答	01	01			11							04							

意見の具申

Q33	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	器板	金溶	接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40	
1. は い	285	271	331	456	404	393	233	256	185	173	265	320	275	262	290	160	180	150	
2. いいえ	188	203	135	88	86	120	189	238	239	269	206	156	164	221	215	400	300	300	
3. どちらともいえない	524	522	534	456	510	470	578	506	576	552	525	520	561	510	495	440	520	525	
4. 無回答	03	04				17				06	04	04	07					25	

整理整頓

Q34	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	器板	金溶	接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40	
1. は い	641	620	716	624	648	641	595	663	636	664	670	664	620	600	607	560	760	675	
2. い え	93	89	106	48	97	52	129	124	72	113	54	99	140	110	66	80	40	50	
3. どちらともいえない	265	290	178	328	255	307	276	213	285	223	272	237	240	290	327	360	200	250	
4. 無回答	01	01							07		04							25	

転職経験

Q35-1	全体			38年 40年 42年 44年 45年 46年 47年							機械自動車電機器板金溶接					1~30 40~70 80~		
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40
1. 転職の経験はない	68.4	67.7	71.1	40.0	30.8	46.1	68.1	81.9	85.5	96.0	71.2	62.2	74.3	67.5	68.3	88.0	92.0	87.5
2. 一回ある	17.8	17.6	18.3	28.0	36.2	31.5	19.8	12.5	8.6	2.8	16.7	22.5	14.6	14.5	17.8		8.0	10.0
3. 二回回	8.1	8.4	7.2	16.8	18.1	12.8	9.5	3.1	4.6	0.6	6.6	9.5	6.4	11.7	6.5	4.0		2.5
4. 三回回	3.0	3.4	1.4	10.4	7.4	2.6		1.9	1.3		3.5	2.3	4.1	2.8	1.9	4.0		
5. 四回回	1.5	1.6	1.0	1.6	4.3	4.3	2.6				0.8	2.3		1.4	3.7			
6. 五回回	0.4	0.5		1.6	1.1	0.9					0.4			1.4	0.9			
7. その他	0.5	0.7		1.6	2.1	0.9					0.8	0.8			0.9	4.0		
8. 無回答	0.3	0.1	1.0			0.9		0.6	0.6			0.4	0.6	0.7				

一ばんはじめに勤めた会社

Q35-2	全体			38年 40年 42年 44年 45年 46年 47年							機械自動車電機器板金溶接					1~30 40~70 80~		
	N=295	N=237	N=58	N=75	N=65	N=62	N=37	N=28	N=22	N=6	N=74	N=98	N=43	N=46	N=34	N=2	N=4	N=5
勤続期間																		
1. 一年以内	28.5	29.4	25.4	24.0	10.8	25.5	25.0	44.9	72.7	83.3	25.6	23.0	36.4	34.0	33.3	50.0	75.0	80.0
2. 一年以上~二年以内	22.5	20.4	30.2	10.7	24.6	20.6	38.9	34.5	27.3		21.6	27.0	13.6	21.3	24.2	50.0	25.0	
3. 二年以上~三年以内	15.1	14.9	15.9	13.3	16.8	20.6	22.2	10.3			13.5	19.0	15.9	8.5	15.2			
4. 三年以上~五年以内	18.1	20.0	11.1	22.7	29.2	23.8	8.3				20.3	14.0	25.0	21.3	12.1			
5. 五年以上~七年以内	6.0	6.0	6.3	10.7	12.3	3.2					9.5	6.0	2.3	8.5				
6. 七年以上	1.7	1.7	1.6	5.3	1.5						2.7	3.0						
7. 無回答	8.1	7.6	9.5	13.3	4.6	6.3	5.6	10.3	16.7		6.8	8.0	6.8	6.4	15.2			20.0
仕事の内容																		
1. 訓練職種と同じ	60.7	58.3	69.8	58.7	64.6	61.9	75.0	58.7	50.0	12.5	54.0	82.0	34.1	55.3	54.5	33.3	50.0	60.0
2. 少し関係があった	23.8	25.5	17.5	24.0	23.1	28.6	16.6	17.2	31.9	25.0	25.7	10.0	43.2	27.7	30.3	33.3	50.0	20.0
3. 関係がなかった	7.0	8.1	3.2	9.3	7.7	3.2	2.8	6.9	13.6	12.5	8.1	1.0	15.9	10.6	6.1	33.4		
4. 無回答	8.5	8.1	9.5	8.0	4.6	6.3	5.6	17.2	4.5	50.0	12.2	7.0	6.8	6.4	9.1			20.0

二ばんに勤めた会社

Q35-2	全体中卒高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	器板	金溶接	1~30	40~70	80~	
	N=295	N=237	N=58	N=75	N=65	N=62	N=37	N=28	N=22	N=6	N=74	N=98	N=43	N=46	N=34	N=2	N=4	N=5	
勤続期間																			
1. 一年以内	321	313	363	173	247	290	406	500	727	500	283	296	278	392	442	500	500	800	
2. 一年以上~二年以内	197	186	241	147	169	226	270	214	273		162	224	140	261	176	500	250	200	
3. 二年以上~三年以上	163	177	103	120	215	161	270	179			216	163	186	152	29				
4. 三年以上~五年以内	112	118	86	120	169	194	27				135	133	116	22	118				
5. 五年以上~七年以内	102	114	52	200	154	81					95	82	140	130	88				
6. 七年以上	31	25	52	107	15						41	31	70						
7. 無回答	74	67	103	133	31	48	27	107		500	68	71	70	43	147		250		
給与																			
前に勤めた会社の給与より																			
1. 高くなった	621	637	552	640	708	548	649	571	636	167	622	632	605	630	589	500	250	800	
2. 低くなった	176	169	207	80	184	226	270	179	182	167	135	133	279	196	235		250		
3. 無回答	203	194	241	280	108	226	81	250	182	666	243	235	116	174	176	500	500	200	
仕事の内容																			
1. 訓練職種と同じ	325	321	345	240	384	306	433	321	363	167	297	388	348	304	206	500		600	
2. 少し関係があった	261	257	276	320	231	242	243	250	273	167	189	255	279	348	294	500	250	200	
3. 関係がなかった	241	257	172	200	277	307	216	179	91		284	184	233	196	382			200	
4. 無回答	173	165	207	240	108	145	108	250		666	230	173	140	152	118		750		

三ばんに勤めた会社

Q35-2	全体中卒高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	器板	金溶接	1~30	40~70	80~	
	N=128	N=108	N=20	N=40	N=31	N=25	N=14	N=8	N=9	N=1	N=31	N=39	N=18	N=25	N=15	N=2	N=0	N=1	
勤続期間																			
1. 一年以内	360	334	500	175	193	400	644	625	1000		387	334	277	320	533	1000		1000	
2. 一年以上~二年以内	195	194	200	175	322	160	143	250			194	282	222	160					
3. 二年以上~三年以上	133	158		225	97	160	71				226	51	167	160	17				
4. 三年以上~五年以内	133	120	200	125	194	200	71				32	205	111	160	133				
5. 五年以上~七年以内	70	83		125	129						97	51	56	120					
6. 七年以上	23	28		75							32		56	67					
7. 無回答	86	83	100	100	65	80	71	125		1000	32	77	111	80	200				

給与	全体 中卒 高卒										38年 40年 42年 44年 45年 46年 47年					機械 自動車 電気器 板金 溶接					1~30 40~70 80~		
	N=128	N=108	N=20	N=40	N=31	N=25	N=14	N=8	N=9	N=1	N=31	N=39	N=18	N=25	N=15	N=2	N=0	N=1					
前に勤めた会社の 給与より																							
1. 高くなった	579	602	450	600	645	520	500	625	556		710	564	500	560	467			1000					
2. 低くなった	179	176	200	125	194	240	286		222		161	231	222	80	200			500					
3. 無回答	242	222	350	275	161	240	214	375	222	1000	129	205	278	360	333			500					
仕事の内容																							
1. 訓練職種と同じ	305	296	350	200	355	400	357	250	334		258	385	278	240	333								
2. 少し関係があった	235	204	400	325	193	200	214	125	222		161	333	222	200	200			1000					
3. 関係がなかった	273	315	50	300	323	240	286	125	222		420	205	167	280	267			500					
4. 無回答	187	185	200	175	129	160	143	500	222	1000	161	77	333	280	200			500					

勤続期間	全体 中卒 高卒										38年 40年 42年 44年 45年 46年 47年					機械 自動車 電気器 板金 溶接					1~30 40~70 80~		
	N=51	N=46	N=5	N=19	N=14	N=10	N=3	N=3	N=2	N=0	N=14	N=14	N=7	N=8	N=8	N=1	N=0	N=0					
四ばんに勤めた会社																							
Q35-2																							
1. 一年以内	451	435	600	316	500	500	667	333	1000		429	500	143	500	625			1000					
2. 一年以上~二年以内	215	239		210	214	200	333	333			357	143	143	250	125								
3. 二年以上三年以内	118	130		158	144	100					143	215	143										
4. 三年以上~五年以内	19	22			71						71												
5. 五年以上~七年以内	59	43	200	158								71	143	125									
6. 七年以上																							
7. 無回答	138	131	200	158	71	200		334				71	428	125	250								

給与	全体 中卒 高卒										38年 40年 42年 44年 45年 46年 47年					機械 自動車 電気器 板金 溶接					1~30 40~70 80~		
	N=51	N=46	N=5	N=19	N=14	N=10	N=3	N=3	N=2	N=0	N=14	N=14	N=7	N=8	N=8	N=1	N=0	N=0					
前に勤めた会社の 給与より																							
1. 高くなった	412	391	600	263	500	600	667	333			500	429	250	250									
2. 低くなった	255	283		158	357	300	333		500		214	143	375	250									
3. 無回答	333	326	400	579	143	100		667	500		286	429	375	500	1000								

仕事の内容	全 体 中 卒 高 卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自 動 車	電 気 器	板 金	溶 接	1~30	40~70	30~
	N= 51	N= 46	N= 5	N= 19	N= 14	N= 10	N= 3	N= 3	N= 2	N= 0	N= 14	N= 14	N= 7	N= 8	N= 8	N= 1	N= 0	N= 0
1. 訓練職種と同じ	294	326		210	571	200	333				286	286	571	125	250			
2. 少し関係があった	255	261	200	211	286	400		333			143	286		500	375			
3. 関係がなかった	196	174	200	53	143	300	667	333	500		357	286		125				
4. 無回答	255	239	400	526		100		334	500		214	142	429	250	375	1000		

五ばんに勤めた会社

Q35-2	全 体 中 卒 高 卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自 動 車	電 気 器	板 金	溶 接	1~30	40~70	30~
	N= 23	N= 21	N= 2	N= 6	N= 7	N= 7	N= 3	N= 0	N= 0	N= 0	N= 5	N= 8	N= 0	N= 4	N= 6	N= 0	N= 0	N= 0

勤続期間																			
1. 一年以内	304	238	1000	333	143	286	667				400	500			167				
2. 一年以上~二年以内	391	428			857	286	333				400	250		500	500				
3. 二年以上~三年以内																			
4. 三年以上~五年以内	44	48		167								125							
5. 五年以上~七年以内	44	48		167											167				
6. 七年以上																			
7. 無回答	217	238		333		428					200	125		500	166				

給 与

前に勤めた会社の給与より																			
1. 高くなった	435	476		500	428	286	667				600	625		250	167				
2. 低くなった	174	143	500		428	143					200	250			167				
3. 無回答	391	381	500	500	144	571	333				200	115		750	666				

仕事の内容

1. 訓練職種と同じ	174	143	500		285	143	333					375			167				
2. 少し関係があった	261	286			285	428	333				200	125			666				
3. 関係がなかった	304	333		500	430	143					600	375		250					
4. 無回答	261	238	500	500		286	333				200	125		750	167				

転職理由

Q35-3	全体			卒 高 卒							機 械 自 動 車 電 機 器 板 金 溶 接					1~30 40~70 80~		
	N=295	N=237	N=58	N=75	N=65	N=62	N=37	N=28	N=22	N=6	N=74	N=98	N=43	N=46	N=34	N=2	N=4	N=5
1. 会社の将来	85	93	52	53	62	129	81	143	91		81	41	186	65	118			250
2. 労働時間・残業が多い	34	29	52	53	62	16		36	16		41	20	47	43	29			500
3. 給料が安い	102	89	155	80	108	129	135	36	136		95	143	70	87	59			
4. 仕事の内容	41	29	86	40		16	81	71	91	167	68	41	23		59			250 200
5. 求人条件と待遇が異なる	17	17	17	40				36	45		27			43	29			
6. 人間関係	132	148	69	93	185	81	108	177	229	167	108	112	140	218	118			200
7. 通勤に不便	34	38	17	13	46	32	27		136		13	31	23		147			
8. 病 気	17	17	17	13	15	16		36	45		13	10	23		59			
9. 進 学	27	29	17	67	15	16	27				41	41	23					
10. 独立自営	71	55	138	67	92	65	27	143	45		54	112	70	65				200
11. 仕事が見つからない	03		17	13								10						
12. 仕事が単調	41	42	34	27	31	48	108	36			68	51		43				
13. 作業環境が悪い	27	34		40	31	16	54				27	10	23	65	29			
14. 会社のネームバリュー																		
15. 福利厚生施設がよくない																		
16. カッコよくない																		
17. 人にさそわれた	20	25		27	46	16						20	47	22	29			
18. なんとなく	14	13	17	13		16	54					31		22				
19. その他	102	101	103	80	92	146	54	143	45	333	108	92	93	109	118			500 200
20. 無回答	233	241	209	281	216	258	244	143	137	333	256	235	232	218	206	500		200

就職理由

Q35-4	全体中卒高卒			38年 40年 42年 44年 45年 46年 47年							機械自動車 電機器 板金 溶接					1~30 40~70 80~		
	N=295	N=237	N=58	N=75	N=65	N=62	N=37	N=28	N=22	N=6	N=74	N=98	N=43	N=46	N=34	N=2	N=4	N=5
1. 会社の将来性	85	72	138	107	62	81	54	178	45		54	82	116	87	118			
2. 労働時間																		
3. 給料がよい	78	72	103	120	123	48	27	36		167	94	92	47	43	88			
4. 仕事が適した	231	207	328	213	292	129	270	357	136	333	257	255	186	218	176		750	200
5. 職場の雰囲気がい	24	26	17		15	32	54	36	45		27	10		65	29			
6. 通勤に便利	64	51	121	53	62	65	54	71	136		54	61	116		118	500		
7. 作業環境がよい	07	04	17	13			27				13				29			
8. ネームバリューがある	03	04					27				13							
9. 福利厚生施設がよい																		
10. カッコよい仕事だから																		
11. 人にさそわれた	85	97	34	120	77	65	54	36	182		68	61	116	152	59			200
12. 他の会社に就職を希望したがやむを得ず	47	55	17	53	62	48	27		91		54	31	23	65	88			200
13. ただなんとなく	34	42		27	31	48	81				13	31	47	65	29			
14. その他	78	72	103	40	62	96	108	143	91		95	92	93	65				200
15. 無回答	264	298	120	252	214	386	215	143	272	500	257	285	256	240	266	500	250	200

転職の難易

Q35-5	全体中卒高卒			38年 40年 42年 44年 45年 46年 47年							機械自動車 電機器 板金 溶接					1~30 40~70 80~		
	N=295	N=237	N=58	N=75	N=65	N=62	N=37	N=28	N=22	N=6	N=74	N=98	N=43	N=46	N=34	N=2	N=4	N=5
1. 簡単に就職できた	508	502	534	400	553	564	567	464	636	167	459	490	674	457	529	500	750	400
2. 苦勞した	92	105	34	107	31	48	108	143	227	167	108	61	23	152	147	500		200
3. 空白期間はない	342	338	362	413	400	306	297	321	137	333	365	388	256	348	265		250	400
4. 無回答	58	55	70	80	16	82	28	72		333	68	61	47	43	59			

転職の難易の理由

Q35-6	全体中卒高卒			38年 40年 42年 44年 45年 46年 47年							機械自動車 電機器 板金 溶接					1~30 40~70 80~		
	N=150	N=119	N=31	N=30	N=36	N=35	N=21	N=13	N=14	N=1	N=34	N=48	N=29	N=21	N=18	N=1	N=3	N=2
1. 知識、技能を身につけていた	180	193	129		167	200	286	384	215		235	167	69	190	278			500
2. 資格、免許をとっていた	167	168	161	233	138	171	190	77	142		59	333	69	95	167			
3. 人手がほしかったから	240	269	129	233	167	371	238	77	215	1000	265	146	276	238	389	1000	667	
4. 会社に修了者がいた	07	08							71				34					
5. コネがあつた	153	160	129	200	222	86	95	154	142		206	42	276	238	56			500
6. わからない	13	18		34		28					29			48				
7. その他	127	92	258	100	222	86	142	154			88	146	138	143	110			
8. 無回答	113	92	194	200	84	58	49	154	215		118	166	138	48				333

進学についての意識

Q36-1	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自 動 車	電 機 器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40
1. あ る	483	524	337	624	510	513	492	431	444	424	518	435	538	441	486	360	340	500
2. な い	483	447	610	336	457	436	474	538	524	554	455	531	444	525	439	480	580	375
3. 無 回 答	34	29	53	40	33	51	34	31	32	22	27	34	18	34	75	160	80	125

科別×中卒者

あ る	536	526	563	475	511
な い	448	453	424	500	402

進学理由

Q36-2	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自 動 車	電 機 器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=455	N=385	N=70	N=78	N=48	N=60	N=57	N=69	N=67	N=76	N=133	N=114	N=92	N=64	N=52	N=9	N=17	N=20
1. 社会的に認められな いから	281	299	186	308	271	216	280	333	328	224	218	254	293	281	481	222	118	300
2. 学歴が欲しかった	114	124	57	128	83	133	106	101	90	145	120	140	76	125	96	111	176	200
3. 仕事をする上で程度 の高いものを必要と した	257	260	243	295	166	283	281	188	269	289	286	167	315	328	192	222	412	100
4. 事務の管理的な仕事 をしたかった	12	13			42	17		15		13	15		11	16	19			
5. 周囲の人が進学した	04	05					18		15		08				19			
6. 自分の能力をためす	226	200	371	192	250	167	228	290	254	210	240	289	228	172	117	222	176	350
7. わからない	18	21		13	21	67				26	15	26	11		38	111		
8. その他	44	47	29	38	125	50	18	58		40	68	44	33	16	38			59
9. 無回答	44	31	114	26	42	67	69	15	44	53	30	80	33	62		111	59	50

科別×中卒者

社会的に認められないから	228	306	333	304	458
学歴がほしかった	110	222	99	125	125

進学の実態

Q36-3	全体中卒高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機器	板金	溶接	1~30	40~70	80~
	N=455	N=385	N=70	N=78	N=48	N=60	N=57	N=69	N=67	N=76	N=133	N=114	N=92	N=64	N=52	N=9	N=17	N=20
1. 進学した	268	299	100	359	333	300	263	232	209	197	278	184	348	328	211	111	118	200
2. 進学しなかった	703	678	843	628	625	667	702	739	746	790	707	772	641	625	751	778	882	800
3. 無回答	29	23	57	13	42	33	35	29	45	13	15	44	11	47	38	111		

科別×中卒者

進学した 159 109 208 178 106

技能検定

Q37-1	全体中卒高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機器	板金	溶接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40
1. 知らない	52	50	58	88	53	09	86	50	20	61	12	50	164	14	28	40	120	
2. 二級に合格	226	187	365	312	254	290	293	212	185	112	105	444	35	152	393	40	240	125
3. 三級に不合格	45	52	19	88	64	51	69	38	33		31	60	12	56	47	40		
4. うける気がしない	188	202	139	152	224	307	198	219	152	112	276	95	246	252	112	200	100	100
5. 試験をうけてみようと思っ ている	329	342	284	208	245	188	251	331	450	497	459	179	368	333	206	400	420	
6. 一級に合格	14	16	05	16	11	34	09		21	11		08	12	14	65	40	20	550
7. 一級に不合格	03	03	05			09		13					12		09			
8. 無回答	143	148	125	136	149	112	94	137	139	207	117	144	151	179	139	240	100	225

技能検定を
うけない理由

Q37-2	全体中卒高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機器	板金	溶接	1~30	40~70	80~
	N=177	N=148	N=29	N=19	N=21	N=36	N=23	N=35	N=23	N=20	N=71	N=25	N=42	N=27	N=12	N=5	N=5	N=4
1. 実力がいない	96	101	69	53	48	83	130	57	87	250	85	40	119	185				200
2. 試験場が不便だから																		
3. 周囲の人も試験 をうけていない	11	14			48		43				14							83
4. 受検しづらい雰囲気 が会社にある	11	14			48	28						40		37				
5. 給与、昇進に 関係ないから	159	169	103	210	143	194	130	143	130	150	183	80	190	74	251			
6. 合格しても一般社会 では活かしてくれない から	34	27	69	53	48	28		57	43		28	40	48	37				
7. ただなんとなく	107	108	103		143	112	130	86	175	100	85	80	143	185				
8. わからない																		
9. その他	56	67			95	28		57	87	150	127		24			200	200	
10. 無回答	526	500	656	684	427	527	567	600	478	350	478	720	476	482	666	800	600	1000

訓練の効果

Q 38-1	全体			中卒			高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	器板	金溶	接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151																
1. 非常に役立っている	413	381	524	360	467	453	354	412	384	458	338	550	292	421	439	480	480	450							
2. 少し役立っている	478	496	413	464	458	400	551	488	523	452	510	381	591	476	457	480	420	550							
3. 役立っていない	92	105	48	144	64	138	86	75	66	84	117	53	105	103	93								100		
4. わからない	13	15	05	24	11	09	09	25	07	06	31	08	12												
5. 無回答	04	03	10	08						20	04	08											40		

訓練効果のない理由

Q 38-2	全体			中卒			高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	器板	金溶	接	1~30	40~70	80~
	N=87	N=77	N=10	N=18	N=6	N=16	N=10	N=12	N=10																
1. 技能は役立たないから	172	169	200	333	166	125	100	166	200	67	167	357	56	133	200										
2. 知識は役立たないから	57	65				63		83	100	133	100		110												
3. 資格がもらえないから																									
4. 給与に差がないから	23	26					100		100					71							100				
5. 技能や知識が身につかないから	23	26		56					100					33		56							200		
6. 会社が仕事をくれないから	253	246	300	56		250	200	419	200	533	233	215	444	200	100								400		
7. なんとなく	34	39				125		83						33		56	66								
8. わからない																									
9. その他	356	364	300	444	668	437	400	166	300	200	300	357	278	468	500								400		
10. 無回答	82	65	200	111	166		200	83		67	134									133	100				

訓練効果のある理由

Q 38-3	全体			中卒			高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	器板	金溶	接	1~30	40~70	80~
	N=839	N=644	N=193	N=103	N=87	N=100	N=105	N=144	N=137																
1. 知識を身につけた	391	356	508	582	379	350	400	396	386	294	404	438	543	261	177	208	400	350							
2. 技能を身につけた	516	554	390	330	575	580	505	527	496	526	540	443	358	623	750	500	488	500							
3. 資格がとれた	48	40	72	49	34	40	66	35	58	49	05	82	67	38	42	125		100							
4. よい条件で就職できた	14	16	10	10		20		28	07	25	14	08	20	08	31	41									
5. 給与がよい	07	09		10		10			15	06	14		06	15									22	50	
6. 無回答	24	25	20	19	12		19	14	38	50	23	29	06	55		126	90								

将来の仕事の遂行

Q 3 9	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自動車	電機器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. 自信がある	127	120	154	208	191	120	147	94	126	62	136	157	94	103	121		120	100
2. ある程度の自信はある	645	644	649	632	692	726	629	668	602	603	630	674	660	593	655	480	640	575
3. あまり自信はない	120	129	87	96	53	77	138	138	139	156	129	92	140	159	84	200	100	125
4. 不安を感じる	45	45	43	16	11	17	51	50	67	73	51	31	35	62	56	80	100	100
5. わからない	47	48	43	40	32	51	26	31	40	89	35	31	53	62	84	160	20	50
6. 無回答	16	14	24	08	21	09	09	19	26	17	19	15	18	21		80	20	50

人生に影響を与えた人

Q 4 0	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自動車	電機器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. 学校の先生	40	48	14	16	21	60	17	38	46	67	35	15	41	76	65	40	20	125
2. 訓練校の先生	79	86	53	40	42	51	95	131	86	78	113	57	88	62	56	80	40	50
3. 自分の家族	224	211	269	128	149	205	267	256	218	200	225	202	157	297	281	320	360	350
4. 自分自身の努力	210	206	226	256	276	180	216	175	192	207	213	198	275	170	159	200	200	50
5. 会社の同僚や上役	62	74	19	160	85	119	17	44	40	06	78	42	88	55	37			25
6. 会社の経営方針	12	12	10	32	11	17		13	07	06	16	04	12	14	19	40		25
7. 労働組合の方針																		
8. 政 府	01	01							07		04							
9. わからない	11	12	05		11		09	31		17	12	08	06	21	09			
10. その他	31	26	48	48	42	26	26	06	44	33	16	53	23	34	19	40	60	50
11. 無回答	330	324	356	320	363	342	353	306	364	296	283	421	310	262	355	280	320	325

技能の習得をしたところ

Q 4 1	全体 中卒 高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機 械	自動車	電機器	板 金	溶 接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N= 94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N= 25	N= 50	N= 40
1. 職業訓練校	712	703	745	456	680	639	663	750	782	894	720	730	637	704	786	800	840	875
2. 会社の訓練校	17	19	10	16	11	09		31	33	11	19	04	41	07	19			
3. 仕事をしながら自然と	181	189	144	336	138	197	259	156	152	73	155	179	228	192	140	80	120	75
4. 自分一人で勉強した	53	49	67	112	160	77	26	44		11	66	46	47	69	28			25
5. 進学したり、研修会	14	19		48	11	34	09	06			12	11	29	07	09			
6. 中学校または高校	06	05	10			09	26			11	08		12	07	09	40	20	25
7. わからない	04	05		08		09		13			08		06	07				
8. その他	08	08	10	16		26	17		07		08	15		07	09			
9. 無回答	05	03	14	08					26		04	15				80	20	

これからの人生と
職業訓練

Q 4 2	全体中卒高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	板金	溶接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40
1. プラスになると確信	263	252	303	240	319	282	198	238	225	335	210	328	205	297	280	320	320	375
2. プラスになるような気がする	565	567	558	480	553	521	569	569	668	564	580	523	620	565	542	520	600	525
3. マイナスになるような気がする	28	31	14	40		17	52	31	20	28	27	23	35	14	47	80		25
4. わからない	139	146	115	240	128	171	164	156	80	73	175	115	140	124	131	40	80	75
5. 無回答	0.5	0.4	1.0			0.9	1.7	0.6	0.7		0.8	1.1				40		

訓練校入校の相談

Q 4 3	全体中卒高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	板金	溶接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40
1. 自信をもつてすすめる	205	191	255	200	362	205	138	218	133	218	144	294	170	220	168	160	220	175
2. 希望してすすめる	689	695	668	632	595	702	792	645	769	664	739	641	655	697	729	720	720	675
3. 決してすすめない	19	22	10	16	11	17	09	37	20	17	16	04	64	07	09			25
4. わからない	47	54	19	96	21	59	17	37	25	73	70	19	52	48	48	80	40	50
5. その他	36	35	38	56	11	17	44	57	40	22	31	38	47	78	37		20	50
6. 無回答	0.4	0.3	1.0					0.6	1.3	0.6		0.4	1.2	0.9		40		25

進路相談

Q 4 4	全体中卒高卒			38年	40年	42年	44年	45年	46年	47年	機械	自動車	電機	板金	溶接	1~30	40~70	80~
	N=942	N=734	N=208	N=125	N=94	N=117	N=116	N=160	N=151	N=179	N=257	N=262	N=171	N=145	N=107	N=25	N=50	N=40
1. 就職をすすめる	12	07	29			09	43	12	07	11	08	15	06	14	19			
2. 職業訓練校をすすめる	282	289	260	184	425	257	249	294	232	345	194	336	246	359	318	200	240	275
3. 各種学校をすすめる	66	72	43	40	53	60	78	100	46	73	82	57	88	28	65	80	80	75
4. 進学をすすめる	380	388	351	488	362	410	362	357	424	374	443	332	420	331	346	320	400	350
5. わからない	155	149	178	160	117	153	147	137	179	89	187	130	134	158	168	280	160	100
6. その他	100	91	129	120	43	111	121	88	99	107	86	126	94	103	75	80	120	175
7. 無回答	0.5	0.4	1.0	0.8				1.2	1.3			0.4	1.2	0.7	0.9	40		25

みなさんのお考えを教えてください

この調査は総合高等職業訓練校修了生のみなさんの就業実態と日ごろのご意見をお聞かせ願うものです。

この調査の目的は、これからの職業訓練の改善を図るための資料をうることのためです。調査の結果は、統計的処理によって分析しますので、お名前を記入していただく必要はありません。日ごろお考えになっていることをありのままお答え下さるようお願いいたします。

全部お答えいただきましたら、おわたししてある封筒を用いて10月20日までに送り返して下さいようお願いいたします。封筒には切手をはる必要はありません。そのままポストに入れて下さい。

岩手総合高等職業訓練校

職業訓練大学校 調査研究部

※ それでは質問にはいる前にF 1からF 4についてご記入下さい。大部分はあらかじめ用意された答の中からあてはまるものを選び、その番号に◎印や○印をつけていただくことになっています。

F 1 あなたが最後に卒業した学校はどれですか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 中学校
2. 公立普通課程高等学校
3. 公立職業課程高等学校
4. 私立普通課程高等学校
5. 私立職業課程高等学校
6. その他 ()

F 2 あなたは勤め先(会社)には自宅から通勤していますか。どちらかに一つだけ○印をつけて下さい。

1. はい
2. いいえ

F 3 あなたのいまの仕事の立場はどれですか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 自営(家事手伝いを含む)
2. 技能系勤労者
3. 技術系勤労者
4. 事務系勤労者
5. 営業系勤労者
6. その他 ()

F 4 あなたの勤め先(会社)には、いま何人くらいの方が働いていますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 10人未満
2. 11人～ 30人
3. 31人～ 100人
4. 101人～ 300人
5. 301人～ 1,000人
6. 1,001人～ 3,000人
7. 3,000人以上

※ それでは質問に入ります。お答えの方法は前と同じように、あらかじめ用意された答の中からあてはまるものを選び、その番号に◎印や○印をつけて下さい。

Q1 あなたがいまもっとも興味をもっていることは次のどれですか。一番興味をもっているものに◎印をつけ、その他に興味をもっているものには○印(いくつでも)をつけて下さい。

1. 野球やポーリングなどのスポーツ
2. 音楽や映画などの趣味
3. 恋愛, 結婚
4. 旅行
5. 金もうけ
6. 仕事を向上させるための勉強
7. 競馬, 競輪, かけマージャンなどのかけごと
8. 組合活動, 政治活動
9. 宗教活動
10. 家庭の幸福
11. 服装などの流行
12. 特になし
13. その他()

Q2 あなたがいまもっとも悩んでいることは次のどれですか。一番悩んでいるものに◎印をつけ、その他の悩みごとに○印(いくつでも)をつけて下さい。

1. 恋愛, 結婚
2. お金
3. 仕事を向上させることの勉強
4. 会社での仕事のことや人間関係
5. 組合活動, 政治活動
6. 宗教活動
7. 家庭の幸福
8. 特になし
9. その他()

Q3 あなたは、あなたの勤めている会社のことをどう思っていますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 生活のための賃金を得るところで、本当は自分の生活のほうが大切である。
2. 社会の発展にも役立つので多少くらい自分の私生活をぎせいにしても会社の仕事のほうがたいせつである。
3. 私生活と同じくらい大切な自分の生活の一部である。
4. わからない
5. その他()

Q4 いま世間では、かんたんに転職する人が多くなりましたが、あなたは転職することについてどうお考えですか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 現代の社会では、転職は一般化しているので、職業訓練校でうけた訓練と仕事の内容がちがっても転職してもよい
2. 職業訓練校で受けた訓練が生かせる仕事ならば、いつでも転職してもよい
3. 職業訓練校でうけた訓練と仕事の内容がちがっても、少しでもよい条件ならば転職してもよい
4. ずっといまのところに勤め、かわるべきではない
5. わからない
6. その他()

Q5 あなたのお考えでは、次のうちどれが一ばん立派なことだと思いますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. お金もちになること
2. 会社の経営や管理をすること
3. その日その日を無事に暮せるような生活をする事
4. 腕のよい技能者になること
5. 人から尊敬されるようになること
6. 社会の福祉に役立つこと
7. 幸せな家庭をきづくこと
8. 人のために奉仕すること
9. わからない
10. その他()

Q6 もう一度生活態度についておたづねします。あなたのお考えでは次のAとBの二つの意見のうちどちらに近いですか。一つだけ○印をつけて下さい。

- A 会社では自分がどんなに努力をしても、自分の給料にはあまり関係がないので努力をしてもむだだ
- B かりに会社では認めてくれなくても、いつかは自分のためになるので、どんなに苦しくても一生懸命努力して能力をフルに発揮したい
1. Aに賛成
 2. どちらかといえばAに賛成
 3. わからない
 4. どちらかといえばBに賛成
 5. Bに賛成

Q7 働く目的について、あなたはどのように考えていますか。あなたの気持ちに一ばん近いもの一つだけ○印をつけて下さい。

1. カラーテレビや自動車を買って、豊かな生活をする賃金をうるため
2. 自分の技能や知識を社会に役立てて、多少なりとも人々の幸せ、社会の発展につくすため
3. 自分の技能や知識を使って社会的に成功し、自分の存在を世間の人に知らせるため
4. 自分自身の成長・発展を期待するため
5. わからない
6. その他()

Q8 あなたは自分の将来について、いまどんなふうを考えていますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 自分の技能や知識をみがき、会社で役職などにつかなくてもよいから優秀な技能者としてすごしたい
2. 出来るだけ会社で役職などについて、世間の人から評価してもらいたい
3. とくに希望はなく、なりゆきにまかせる
4. いろいろな仕事をしてみたいので、とくに自分の専門にはこだわらず、機会があれば他の仕事をしてみたい
5. わからない
6. その他()

Q9 あなたは、同じ学歴で同じ年に就職し、職業訓練を受けていない同僚と比べて給与の面で優遇されていると思いますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 職業訓練を受けていない同僚よりもあきらかに自分のほうがよい
2. あきらかによいとは思わないが少しはよいのではないかと思う
3. まったく差がない
4. 自分のほうが給料は安く、職業訓練を受けたことがみとめられていない
5. わからない

Q10 あなたは、あなたの腕前(技能)を会社がみとめて職場配置をしていると思いますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 訓練内容と同じ職場にいる
2. 訓練内容と同じ仕事ではないが、多少は関係のある職場にいる
3. 訓練内容とまったくちがう職場にいる
4. わからない

Q11 あなたは現在の仕事にやりがいを感じていますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 非常にやりがいを感じており、楽しみですらある
2. 楽しみとまではいかないが、やりがいは感じている
3. まあまあというところで、とくべつにやりがいを感じていない
- 4.それほど苦にはならないが、やりがいは感じていない
5. やりがいどころか、いますぐやめたいくらいだ
6. わからない

Q12 あなたは技能労働者(ブルーカラー労働者)についてどう考えていますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. いつも汗水流して働かねばならないので、体もつかれ、また世間の人からも仕事をよく評価してもらえない損な立場だと思う
2. 体もつかれ、世間の人からの評価もないかわりに精神的な責任も軽いので気持ちの楽な立場だと思う
3. 苦労もあるが、その反面、一つのものを作るよろこびを味わえる立場だ
4. ものを作るよろこびがあるので苦労は全ぜん感じない
5. わからない

Q13 職務内容、給与、昇進などについて技能労働者(ブルーカラー労働者)と事務系職員(ホワイトカラー労働者)とでは、いろいろと差別があるということがいわれていますが、これについてあなたはどのように考えていますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 会社につくす度合い(貢献度)からいえば、事務系職員のほうがはるかに上であるので差をつけられてもしかたがないと思う
2. かりに会社への貢献度は事務系職員のほうが上であるにしても、現状では不当に差別がありすぎると思う
3. 会社への貢献度は技能労働者も事務系職員もまったく同じだと思う
4. 会社への貢献度は技能労働者のほうがはるかに上であるので、技能労働者のほうを優遇すべきだと思う
5. わからない
6. その他

Q14 あなたは現在の仕事をやりとげるのに、十分な知識や技能をもっていますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. いまの仕事を作りとげるのに十分な力をもっていると思う
2. 同僚と比べても見劣りすることなく、一人前の力をもっていると思う
3. たいていのことは自分でやりとげることは出来るが、まだ人の助けをかりねばならないことがある
4. まだ、わからないことや失敗がしばしばある
5. わからない

※ ちょっと質問のかたちが変わりますが、Q15からQ33までは、いずれも、はい、いいえ、どちらともいえないの三つの中から一つだけ選んで○印をつけて下さい。

- Q15 あなたの仕事は熟練を必要とする仕事ですか。 1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q16 あなたの仕事に対する研究心は同じ職場の同僚と比べて旺盛だと思いますか。 1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q17 あなたは仕事のことなら他の人より早く正確に理解することができると思いますか。 1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q18 あなたはいつも自分の仕事の段どりを考えたり計画をするように心がけていますか。 1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q19 あなたの同僚があなたに仕事のことと質問をしたと仮定します。あなたは同僚に仕事のことなら答えてやることができると思いますか。 1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q20 あなたは会社の規律や時間を守るほうですか。 1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q21 あなたは人の意見をよく聞いてそれを仕事に役立てるよう努力するほうですか。 1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q22 あなたは職場のことをよく考えて同僚や上役と協力して作業を進めるという気持が強いと思いますか。 1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q23 あなたはあなたの仕事に必要な知識をもっており、それを十分に仕事に役立てていると思いますか。 1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q24 あなたはいまの仕事よりももっと程度の高い仕事がしたいと思いますか。 1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない

- Q25 あなたは同じ職場の人と比べて同じ仕事を仕上げるのに長時間かかると思いませんか。
1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q26 あなたはいつも仕事に対して一生懸命とりにくんでいるほうだと思いますか。
1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q27 あなたは仕事の安全に対していつもこまかすぎるくらい気をつかうほうですか。
1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q28 あなたは新しい知識や技能を身につけるための勉強をしたいと思いませんか。
1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q29 あなたは職場設備の改善についてなにか意見をもっていますか。
1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q30 あなたは材料のロスに対する配慮が深く歩どまりについて気を使っているほうだと思いますか。
1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q31 あなたは自分の意見や希望をことばで上手にあらわすことができるほうだと思いますか。
1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q32 あなたは自分の仕事に対して責任をもってやりとげようとする気持が強いほうだと思いますか。
1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q33 あなたは積極的に仕事を行ないどしどし意見を出すほうですか。
1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない
- Q34 あなたは自分の職場で身のまわりの整理整頓を心がけているほうだと思いますか。
1. はい 2. いいえ
3. どちらともいえない

Q35-1 それではもう一度質問のかたちをかえます。こんどは転職についておたづねします。
あなたは転職をしたことがありますか。(アルバイトを除く)一つだけ○印をつけて下さい。

1. いまの会社はじめてで、転職の経験はない
2. 一回ある
3. 二回ある
4. 三回ある
5. 四回ある
6. 五回ある
7. その他(回ある)

※ 前Q35-1で2から7のあいだに○印をつけた人のみ以下の質問にお答え下さい。そして1に○印をつけた人は、11ページのQ36-1にすすんで下さい。

Q35-2 あなたがこれまでに勤めたことのある会社での勤続期間とその会社での仕事の内容が職業訓練校で習った訓練職種と関係があったかどうか、また前の会社の給与と比較して高くなったかどうかについてお聞かせ下さい。

勤めた会社	勤めた期間 (記入して下さい)	給与 (○印をつけて下さい)	仕事の内容 (○印をつけて下さい)
職業訓練校を修了してから 一番はじめに勤めた会社	昭和 年 月から 昭和 年 月まで		1. 訓練職種と同じで 非常に関係があった 2. 訓練職種と同じでは ないが少し関係があった 3. まったく関係がなかった
二番目に勤めた会社	昭和 年 月から 昭和 年 月まで	前に勤めた 会社の給与 と比べて 1.高くなった 2.低くなった	1. 訓練職種と同じで 非常に関係があった 2. 訓練職種と同じでは ないが少し関係があった 3. まったく関係がなかった
三番目に勤めた会社	昭和 年 月から 昭和 年 月まで	二番目に勤め た会社の給与 と比べて 1.高くなった 2.低くなった	1. 訓練職種と同じで 非常に関係があった 2. 訓練職種と同じでは ないが少し関係があった 3. まったく関係がなかった
四番目に勤めた会社	昭和 年 月から 昭和 年 月まで	三番目に勤め た会社の給与 と比べて 1.高くなった 2.低くなった	1. 訓練職種と同じで 非常に関係があった 2. 訓練職種と同じでは ないが少し関係があった 3. まったく関係がなかった
五番目に勤めた会社	昭和 年 月から 昭和 年 月まで	四番目に勤め た会社の給与 と比べて 1.高くなった 2.低くなった	1. 訓練職種と同じで 非常に関係があった 2. 訓練職種と同じでは ないが少し関係があった 3. まったく関係がなかった

Q35-3 あなたが一番はじめに勤めた会社をやめた理由はなにですか。次のうちからいちばん関係あるもの一つだけ◎印をつけ、少し関係あるものには○印(いくつでも)をつけて下さい。

1. 会社の将来に不安があったから
2. 労働時間・残業が多く体がきつかったから
3. 給料が安かったから
4. 仕事の内容が訓練科目とことなっていたから
5. 求人条件と待遇が異なっていたから
6. 人間関係がわづらわしく、職場の雰囲気が悪かったから
7. 通勤に不便だったから
8. 病気になったから
9. 進学のため
10. 独立して自営(家事従事)のため
11. 仕事がむづかしすぎて、自分にはできなかったから
12. 仕事が単調で面白くなかったから
13. 作業環境が悪くて健康のためによくなかったから
14. 会社の名前が世間に知られていなかったから
15. 寮などの福利厚生施設があまりよくなかったから
16. カッコよくないから
17. 知人・友人にさそわれたから
18. ただなんとなく
19. その他()

Q35-4 あなたが二番目の会社に就職したときの就職理由はなにでしたか。次のうちからいちばん関係あるもの一つだけ◎印をつけ、少し関係あるものには○印(いくつでも)をつけてください。

1. 会社に将来性があると思ったから
2. 労働時間が短かいから
3. 給料が前の会社よりもよいから
4. 自分に適した仕事だと思ったから
5. 職場の雰囲気がよいと聞いていたから
6. 通勤に便利だから
7. 作業環境がよく健康によいと思ったから
8. 会社の名前が世間によく知られているから
9. 寮などの福利厚生施設がよくととのっているから
10. カッコよい仕事だから
11. 知人・友人にさそわれたから
12. 本当は他の会社に就職を希望したのだが、就職できなかったから
13. ただなんとなく
14. その他()

Q35-5 あなたは一番はじめに勤めた会社をやめて、二番目の会社に勤めようとしたとき、すぐ就職口がみつかりましたか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 比較的簡単に就職できた
2. なかなか就職口がみつからず苦労した
3. 就職口をみつけてから辞表を出したので空白期間はない

※ 前問35-5で1に○印をつけた人のみお答え下さい。

Q35-6 あなたが比較的簡単に二番目の会社に就職できたのは、どういう理由からだと思えますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 職業訓練校で知識・技能を身につけていたからだと思う
2. 資格・免許をとっていたからだと思う (資格・免許)
3. 当時はどここの会社でも人手がほしかったからだと思う
4. 会社に職業訓練校の修了者がいたからだと思う
5. 会社に知人がいて、コネがあったからだと思う
6. わからない
7. その他()

Q36-1 あなたは職業訓練校修了後いったん勤めながら、高等学校（定時制高校を含む）や大学に行こうと考えたことがありますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. ある
2. ない

※ Q36-2及びQ36-3は前Q36-1で1に○印をつけた人のみお答え下さい。2に○印をつけた人は12ページのQ37-1にすすんで下さい。

Q36-2 あなたが高等学校や大学に進学しようと考えた理由は何ですか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 日本の社会では学歴がないと、会社も一般社会も認めてくれないから
2. たいした理由はないが、なんとしても高卒、大卒の資格が欲しかったから
3. 自分の仕事をする上で、実技や知識面でも、もっと程度の高いものを必要としたから
4. 事務・管理的な仕事をしたかったから
5. 周囲の友人も進学したから
6. 自分の能力や可能性をためしてみたかったから
7. わからない
8. その他()

Q36-3 あなたは実際に進学しましたか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 進学した (学校名)
2. 進学しなかった

Q37-1 あなたは技能検定試験をうけたことがありますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 技能検定試験とは何であるか知らない
2. 二級の技能検定試験に合格している(検定職種名)
3. 二級の技能検定試験をうけたが不合格であった(検定職種名)
4. 試験をうける気がしないのでうけていない
5. まだ一度も試験をうけたことはないが、できるだけ早いうちに試験をうけてみようと思っている
6. 一級の技能検定試験に合格している(検定職種名)
7. 一級の技能検定試験をうけたが不合格であった(検定職種名)

※ Q37-1で4に○印をつけた人のみおこたえ下さい。

Q37-2 あなたが技能検定試験をうける気がしないのはどのような理由からですか。一ばん関係あるものに◎印をうけ、そのほかに関係あるものに○印(いくつでも)をつけて下さい。

1. 試験をうけるほど実力がないから
2. 試験場が遠くて不便だから
3. 会社の同僚や先輩も試験をうけていないから
4. 試験をうけづらい雰囲気があるから
5. かりに試験に合格しても、給与が上ったり、昇進にはぜんぜん関係ないから
6. かりに試験に合格しても、一般社会では認めてくれないから
7. ただなんとなくうける気がしないから
8. わからない
9. その他

Q38-1 あなたは職業訓練校で訓練を受けたことが、あなたのいまの仕事に役立っていると思いますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 非常に役に立っていると思う
2. 少しは役に立っていると思う
3. 役に立っていない
4. わからない

※ Q38-1で3に○印をつけた人だけお答え下さい。1, 2, に○印をつけた人は、Q38-3にすすんで下さい。

Q38-2 あなたが役に立っていないと思う理由はなんですか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 訓練校で習った技能は会社では役に立たないから
2. 訓練校で習った知識は会社では役に立たないから
3. 何の資格ももらえなかったから
4. 訓練校を出ても、出ていなくても給与に差がないから
5. 技能や知識があまり身につかなかったから
6. 会社が自分に適した仕事をくれないから
7. なんとなく
8. わからない
9. その他()

※ Q38-1で1あるいは2に○印をつけた人だけお答え下さい。

Q38-3 あなたが非常に、あるいは少し役に立っていると思う理由はなんですか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 知識を身につけたから
2. 技能を身につけたから
3. 資格がとれたから
4. よい条件で就職できたから
5. 訓練校を出ていない同僚よりも給与がよいから

Q39 技術革新が進んだり、仕事の内容が高度なものになってきておりますが、あなたは自分の仕事について、どのように考えておりますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. どんなに技術革新が進んでも、また職務内容が高度なものになっても、それをこなせる自信がある
2. いまでも人並みのことはやっているので、ある程度の自信はある
3. なりゆきにまかせているが、あまり自信はない
4. 自分に自信がないので、これからの仕事にも不安を感じる
5. わからない

Q40 あなたの今日までの人生は、次のだれによってもっとも大きく影響されたと思えますか。一番大きく影響されたものに◎印をつけ、その他のものに○印(いくつでも)をつけて下さい。

1. 学校の先生
2. 職業訓練校の先生
3. 自分の家族
4. 自分自身の努力
5. 会社の同僚や上司
6. 会社の経営方針
7. 労働組合の方針
8. 政府
9. わからない
10. その他()

Q41 あなたはいま身につけている知識や技能は主としてどこで修得したものだと思えますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 基本的には総合高等職業訓練校で
2. 会社の職業訓練校で
3. 会社で仕事をしながら自然と
4. 仕事する上で必要だったので、自分一人で勉強した
5. 訓練校修了後高校に進学したり、または、研修会などで
6. 中学校または高校で
7. わからない
8. その他()

Q42 あなたは職業訓練修了者であることが、これからの人生にプラスになると思えますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. かならずプラスになると確信する
2. はっきりとはいえないが、プラスになるような気がする
3. 将来のことを考えると、いろいろな面でマイナスになるような気がする
4. わからない

Q43 あなたは学校の後輩などから職業訓練校へ入りたいと相談を受けたら、職業訓練校に入ることを進めますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. ぜひ職業訓練校に入るよう自信をもってすすめる
2. 相手が希望していればすすめるが、希望していなければすすめない
3. 決してすすめない
4. わからない
5. その他()

Q44 あなたは学校の後輩などから進学についての相談をうけたら、どのようにこたえますか。一つだけ○印をつけて下さい。

1. 直接に就職することをすすめる
2. 職業訓練校に行って、技能を身につけることをすすめる
3. できれば都市にある、各種学校に行くことをすすめる
4. 高校や大学に進学するようにすすめる
5. わからない
6. その他()

Q45 職業訓練校での生活や勉強のことで、不満であったことや今後改善したらよいと思うことなどありましたら、なんでもお書き下さい。

※ ありがとうございます。それではもう一度はじめから見直して、記入もれのないことをたしかめて下さい。そして、おわたししてある封筒に入れて送り返して下さい。切手をはる必要はありません。